

資料編

□自然環境

1 植物

【植物相(現地調査結果)】

【注目すべき種(選定基準Ⅹ・Ⅺにおける全ランクを含む)】

資料 1-1 選定基準

選定基準となる法律・文献など	
I	『文化財保護法』(昭和 25 年法律第 214 号)に基づく国の天然記念物(天)・特別天然記念物(特)
II	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』(平成 4 年法律第 75 号)に示されている種 ・国内希少野生動植物種(国内) ・国際希少野生動植物種(国際)
III	『哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて』(環境省, 2007 年) ・絶滅(EX) ・野生絶滅(EW) ・絶滅危惧ⅠA類(CR) ・絶滅危惧ⅠB類(EN) ・絶滅危惧Ⅱ類(VU) ・準絶滅危惧(NT) ・情報不足(DD) ・絶滅のおそれのある地域個体群(LP)
IV	『環境省第 4 次レッドリスト』(環境省, 2012 年) ・(カテゴリはⅢに同じ)
V	『【植物Ⅰ(維管束植物)】環境省レッドリスト 2015』(環境省報道発表資料, 2015 年) ・(カテゴリはⅢに同じ)
VI	『宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドデータブック-』(宮城県, 2001 年) ・絶滅(EX) ・野生絶滅(EW) ・絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN) ・絶滅危惧Ⅱ類(VU) ・準絶滅危惧(NT) ・情報不足(DD) ・絶滅のおそれのある地域個体群(LP) ・要注目種(要)
VII	『宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト 2013 年版-』(宮城県, 2013 年) ・(カテゴリはⅥに同じ)
VIII	『宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物-RED DATA BOOK MIYAGI 2016-』(宮城県, 2016 年) ・(カテゴリはⅥに同じ)
IX	『平成 6 年度自然環境基礎調査報告書』(仙台市, 1995 年)において「保全上重要な植物種」とされる種 ・レッドデータブック該当種(A) ・希産種:市内の出現頻度のごくまれ(B1) ・希産種:市内の出現頻度がまれ(B2) ・分布限界種:仙台市付近が北限及び南限とする種(C1) ・分布限界種:県内における分布頻度が、まれ又はごくまれの種(C2) ・基準標本種(D) ・景観構成種(E) ・絶滅危険種:レッドデータブックのリストには含まれていないが、 仙台市において絶滅が心配される種(F1) ・絶滅危険種:レッドデータブックのリストには 含まれていないが、全国レベルでそれらに準じる種(F2)
X	『平成 15 年度自然環境基礎調査報告書』(仙台市, 2004 年) 【学術上重要な種】 ・仙台市においてもともと希産あるいは希少である種。あるいは分布が限定されている種(1) ・仙台市が分布の北限、南限となっている種。あるいは隔離分布となっている種(2) ・仙台市が模式産地(タイプロカリティー)となっている種(3) ・その他、学術上重要な種(4) 【減少種】 ・現在ほとんど見ることができない種(A) ・減少が著しい種(B) ・減少している種(C) 【環境指標種】 【ふれあい種】
XI	『平成 22 年度自然環境基礎調査報告書』(仙台市, 2011 年) 【学術上重要な種】 【環境指標種】 【ふれあい種】 ・(カテゴリはⅩに同じ) 【減少種】 ・現在ほとんど見ることができない種(A) ・減少が著しい種(B) ・減少している種(C) ・普通に見られる(*) ・生息・生育していない可能性が非常に大きい(/)

【植物相(現地調査結果)】

資料 1-2 注目すべき種(植物)一覧

種名	選定基準																		
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X				XI					
										学術上重要種	注目種		ふれあい種	学術上重要種	減少種		ふれあい種		
											市街地	田園			環境指標種	市街地		東部田園	環境指標種
イヌスギナ											B	●				B			
オニグルミ										B	B	●	○		B	B	●	○	
ケヤキ										B	B	●	○		B	B	●	○	
イヌタデ																	●		
ミゾソバ										B	C	●	○		B	C	●	○	
シロイヌナズナ					要														
ナズナ										B	B		○		B	B	●	○	
テリハノイバラ					要				1.2			●	○						
ツクシハギ													○				●	○	
ヤハズエンドウ					要														
イボタノキ																	●		
ハマヒルガオ												●	○				●	○	
オオバコ																	●		
メヒシバ																	●		
カゼクサ										B	C		○		B	C	●		
オオウシノケグサ									4					4		B	●	○	
エゾノサヤヌカグサ											B					C			
オギ													○		C	C	●	○	
ヨシ										C	C	●	○		C	C	●	○	
アズマネザサ										B			○						
マコモ											B	●	○			B	●	○	
シバ										B	B	●	○		B	B	●	○	
ミクリ			NT	NT	NT	要	NT	NT	A	1		A	●		1		B	●	
ヒメガマ										B	B		○		C	C		○	
ガマ										B	B	●	○		C	C	●	○	
ネジバナ											B		○			B	●	○	
26種	0種	0種	1種	1種	1種	4種	1種	1種	1種	3種	10種	14種	11種	16種	2種	10種	16種	19種	14種

※黄色で着色した種は、選定基準 I～IX に該当する種、または選定基準 X、XI の「学術上重要な植物種」及び「減少種の中でも特に希とされる A ランク」に該当する種である。確認状況、一般生態、確認位置は本編参照。

※選定基準は資料 1-1 に示す。

資料1-3(1) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(イヌスギナ)

種名	イヌスギナ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	1地点で確認
	秋季	確認できず
一般生態	トクサ科トクサ属夏緑性草本。日当たりのよい湿地、沼沢地や川沿いに生える。地下茎は長く匍匐し、直立茎はしばしば群生する。茎は高さ20-60cm、基部で径2-4mm、上半部で規則正しく枝を輪生し、主軸の先は長く伸びて枝をつけない。葉鞘は歯片とともに1-1.2cm、緑色、歯片は披針形、鋭頭、褐色で古くなると黒変し、辺縁には白膜がある。下部の枝の最下の節間は主軸の葉鞘より短い。枝は斜上し、長さ5-20cm、分岐せず、隆条には細点がある。孢子囊穂は主軸に頂生し、長さ1-3.5cm、柄の長さは0.5-3cm。国内では北海道・本州(長野県や関東地方以北)に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(シダ)』(平凡社 1992)

資料1-3(2) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(オニグルミ)

種名	オニグルミ	
確認状況	春季	1地点で確認
	夏季	1地点で確認
	秋季	2地点で確認
一般生態	クルミ科クルミ属の落葉高木。川沿いの湿気の多い所に生える。高さ7-10m、大きいものは25mになる。葉は奇数羽状複葉で長さ40-60cm、11-19枚の小葉からなる。葉柄や葉軸には褐色の軟毛や線毛が密生する。小葉は楕円形~長楕円形、長さ8-18cm、幅3-8mm、縁にとがった細鋸歯がある。花期は5-6月。雄花序は前年度の葉腋から出て下垂し、長さ10-22cmで雄花は多数つく。雌花序は枝先につき、直立して長さ6-13cm、まばらに7-10個の花をつける。果実は9-10月に熟し、卵円形、長さ3-4cm、褐色の毛が密生する。核は卵円形または楕円形で先がとがり、表面にしわがある。北海道~九州に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(木本I)』(平凡社 1989)

資料1-3(3) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(ケヤキ)

種名	ケヤキ	
確認状況	春季	1地点で確認
	夏季	1地点で確認
	秋季	2地点で確認
一般生態	ニレ科ケヤキ属の落葉大高木。温暖な地域の肥沃地や溪畔によく生える。樹皮は灰白色でほぼ平滑であるが、老木では大きな鱗片となつてはがれる。分枝は仮軸分枝。葉は2列互生し、狭卵形または卵状楕円形で、長鋭尖頭、基部は浅心形または円形、鋸歯があり、表面はややざらつく。葉脈は裏面に突出し、側脈は鋸歯の先端に達する。花は4月、新葉とともに開き、単性で雌雄同株。雄花は新枝の下部の葉腋に束生または単生する。雌花は上部の葉腋に単生、またはまれに3個ほど束生する。核果は不齊な扁球形をなし、稜角があり、10月に灰黒色に熟す。国内では本州・四国・九州に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(木本I)』(平凡社 1989)

資料 1-3(4) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(イヌタデ)

種名	イヌタデ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	1地点で確認
	秋季	複数の地点で確認
一般生態	タデ科イヌタデ属の一年草。道ばたや原野に生える。茎の下部は地をはって、分枝し、上部は直立し、無毛、高さ20-50cmになり、多少赤みを帯びる。葉には短い柄があり、葉身は広披針形、両端は鋭形、表面の縁の付近や裏面の脈上に毛があり、長さ3-8cm、幅1-1.5cm。托葉鞘は筒状で、外面にあら毛があり、縁毛は長い。花期は6-10月。総状花序は密に花をつけ、穂状をなし、長さ1-5cm。萼は紅色まれに白色、5深裂し、長さ1.5-2mm。北海道～琉球に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(草本Ⅱ)』(平凡社 1982)

資料 1-3(5) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(ミゾソバ)

種名	ミゾソバ	
確認状況	春季	2地点で確認
	夏季	1地点で確認
	秋季	1地点で確認
一般生態	タデ科イヌタデ属の一年草。水湿地に生える。茎の下部は地をはい、節から根を出し、上部は直立し、下向きの刺毛があり、高さ30-100cmになる。葉は有柄、卵状ほこ形で、先は鋭尖形、基部は広心形、耳部は卵形、長さ12cm、幅2-3cm、両面に星状毛と刺毛があり、縁毛は密生する。托葉鞘は短い筒状で、毛があり、縁はときに葉状となる。花期は7-10月。総状花序は密な頭状をなして頂生する。花柄には腺毛がある。萼は5裂し、下部は白色、上部は紅紫色、長さ4-7mm、裂片は楕円形、先は円形。そう果は卵状3稜形、褐色で、長さ約3-4mm。北海道～九州に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(草本Ⅱ)』(平凡社 1982)

資料 1-3(6) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(ナズナ)

種名	ナズナ	
確認状況	春季	7地点で確認
	夏季	1地点で確認
	秋季	2地点で確認
一般生態	アブラナ科ナズナ属の越年草。平地に多く、道ばたなどに生える。根は円柱状。根出葉は頭大羽状に分裂し、形や大きさに変化が多く、茎葉は基部が矢じり形で茎を抱く。茎は直立して枝をわけ、高さ10-50cm。花期は3-6月。総状花序はまばらに花をつける。萼片は長楕円状卵形、長さ1-2.5mm、外面に単毛がある。花弁は白色、卵形、長さ1.5-3.5mm、幅1-1.3mm。種子は広卵形で平たく、黄褐色、長さ1-2.5mm、幅0.5-0.75mm。日本全土に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(草本Ⅱ)』(平凡社 1982)

資料1-3(7) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(ツクシハギ)

種名	ツクシハギ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	確認できず
	秋季	1地点で確認
一般生態	マメ科ハギ属の落葉低木。高さ2-4m。小葉はやや厚質で、長さ2-5cmの楕円形で表面は無毛、裏面には伏毛がまばらに生える。花期は8-10月。花は淡紅紫色で長さ1-1.5cm。旗弁の周辺部や裏側、竜骨弁の基部が白いので花の色は淡く見える。また萼裂片の脈は目立たない。国内では、本州、四国、九州に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(草本Ⅱ)』(平凡社 1982)
『樹に咲く花(離弁②)』(山と溪谷社 2000)

資料1-3(8) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(イボタノキ)

種名	イボタノキ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	確認できず
	秋季	1地点で確認
一般生態	モクセイ科イボタノキ属の落葉低木。山麓や平地の林縁などにはえる。高さ2-4mとなり、よく分枝して枝は灰白色、若枝には細毛がある。葉は薄くて光沢がなく、長楕円形、長さ2-5(-7)cm、幅7-20(-25)mm、鈍頭、ふつう葉裏の中肋沿いの基部にまばらに毛がある。花は5-6月、長さ2-4cmの総状花序を枝端につけて開き、花冠は白色で長さ7-9mm、裂片は短く、長さ約3mm。萼は低い4歯があり、ふつう短毛がある。花糸は短く、葯は広披針形で長さ2-2.5mm、花柱は長さ3-4.5mm。果実は広楕円状の球形で長さ6-7mm、紫黒色に熟す。国内では北海道・本州・四国・九州に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(木本Ⅱ)』(平凡社 1989)

資料1-3(9) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(ハマヒルガオ)

種名	ハマヒルガオ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	確認できず
	秋季	1地点で確認
一般生態	ヒルガオ科ヒルガオ属の多年草。海岸や湖岸の砂地にはえる。茎は無毛で砂上をはう。葉は腎心形、凹頭~円頭、長さ2-4cm、幅3-5cm、無毛でやや厚く光沢がある。花期は5-6月。花冠は淡紅色で、径4-5cm、花柄は葉より長い。苞は広卵状三角形、長さ1-1.3cm、鈍頭で微凸端。果実は大きい。国内では北海道~琉球に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(草本Ⅲ)』(平凡社 1981)

資料 1-3(10) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(オオバコ)

種名	オオバコ	
確認状況	春季	2地点で確認
	夏季	4地点で確認
	秋季	1地点で確認
一般生態	オオバコ科オオバコ属の多年草。日当たりのよい道ばたや荒地にふつうにみられる。葉は10枚ばかりで、白毛が散生するか無毛、葉身は変化が多く、長さ1-2cmのものから15cmになるものまであり、やや薄く卵形で先は鈍く、縁は全縁か不明瞭な波状の歯牙があり、基部は急に狭まって長さ5-10cmの細い柄となる。4-9月、高さ10-50cmの花茎を伸ばし、白色の花を密に穂状花序につける。北海道～琉球に広く分布する。	

*出典：『日本の野生植物(草本Ⅲ)』(平凡社 1981)

資料 1-3(11) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(メヒシバ)

種名	メヒシバ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	1地点で確認
	秋季	複数の地点で確認
一般生態	イネ科メヒシバ属の一年草。畑地などにはえる。あらい毛があり、茎は長く地をはい、分枝して、高さ10-50cmになる。葉はやわらかく、扁平で、長さ8-20cm。花序は掌状に分枝した3-8個の総からなり、総は長さ5-15cm、その中軸は幅1mm位あって、縁がざらつく。花は7-11月。和名は雌日芝で、オヒシバに比べてやさしく、日当たりのよい場所によくはえるのに由来する。	

*出典：『日本の野生植物(草本Ⅰ)』(平凡社 1982)

資料 1-3(12) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(カゼクサ)

種名	カゼクサ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	確認できず
	秋季	7地点で確認
一般生態	イネ科スズメガヤ属の多年草。堤防、路傍などにふつうに生える。高さ30-80cm。匍枝は出さない。葉は線形で、細長く、裏面は濃緑色、表面は粉白色であるが、表裏が反転する。円錐花序は長さ20-40cm、狭卵形で、分枝して多数の小穂をまばらにつけ、柄の上方に無柄の黄色の腺がある。小穂は長さ6-10mm、葯は長さ約1mm。花期は8-10月。本州～九州に分布する。	

*出典：『日本の野生植物(草本Ⅰ)』(平凡社 1982)

資料 1-3(13) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(エゾノサヤヌカグサ)

種名	エゾノサヤヌカグサ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	確認できず
	秋季	2地点で確認
一般生態	イネ科サヤヌカグサ属の多年草。水湿地に生える。全体に繊細で、細かいざらつきがある高さ50-80cmの多年草。葉は広線形で薄く、長さ15-25cm、幅8-12mm。円錐花序はまれに下方が葉鞘内に包まれていて、閉鎖花となることがある。小穂は淡泊緑色。花期は8-10月。北海道～九州に分布する。	

*出典：『日本の野生植物(草本Ⅰ)』(平凡社 1982)

資料 1-3(14) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(オギ)

種名	オギ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	1地点で確認
	秋季	確認できず
一般生態	イネ科ススキ属の多年草。水辺、池畔の湿地に群生する。茎は太く、高さ1-2.5mになる。葉は線形で、長さ40-80cm、幅1-3cm。花期は9-10月。花序は長さ25-40cm、中軸はやや短く、総は多数で、長さ20-40cm。小穂は長さ5-6mm、帯褐色で、披針形、基毛はやわらかく銀白色。第4穎は多くは芒がない。北海道～九州に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(草本I)』(平凡社 1982)

資料1-3(15) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(ヨシ)

種名	ヨシ	
確認状況	春季	3地点で確認
	夏季	1地点で確認
	秋季	2地点で確認
一般生態	イネ科ヨシ属の多年草。湿地に群生する。ツルヨシによく似ているが、地上につるがなく、葉は幅2-4cm、先は次第に鋭くとがり、下垂する。花期は8-10月。花序は長さ15-40cm、小穂は長さ(10-)12-17mm。北海道～琉球に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(草本I)』(平凡社 1982)

資料 1-3(16) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(アズマネザサ)

種名	アズマネザサ	
確認状況	春季	1地点で確認
	夏季	1地点で確認(春季と同地点)
	秋季	1地点で確認(春季と同地点)
一般生態	イネ科メダケ属。低山や丘陵地に最もふつうに生える。稈はまばらに出て、株立ちとはならず、高さ1-2.5(-4)m、径2-7(-20)mm、節や鞘とともに無毛。枝は各節に1-5本出る。葉は狭披針形で長さ5-25cm、幅5-20mm、洋紙質で両面ともに無毛。肩毛は白色で平滑、葉鞘先端の肩毛付着部分は平らである。北海道(西南部)・本州・四国・九州に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(木本II)』(平凡社 1982)

資料 1-3(17) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(マコモ)

種名	マコモ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	2地点で確認
	秋季	3地点で確認
一般生態	イネ科マコモ属の多年草。沼地、溝中に生える。雌雄同株で、根茎は太く、横にはい、節がある。茎は高さ1-2mあって太く、平滑で、無毛。葉は長さ50-100cm、幅2-3cm、粉緑色を帯び、細かなざらつきがあり、葉舌は長い。花期は8-10月。円錐花序は直立し、長さ40-60cmになり、よく分枝する。雌性小穂は線形、淡緑色、長さ18-25mmで、2-3cmの直立する芒がつく。花序の下半部の小穂は雄性で、長さ8-12mm、汚赤紫色を帯びて下垂する。北海道～九州に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(草本I)』(平凡社 1982)

資料 1-3 (18) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(シバ)

種名	シバ	
確認状況	春季	1地点で確認
	夏季	確認できず
	秋季	1地点で確認
一般生態	イネ科シバ属の多年草。日当たりのよい草地に生える。硬くて、長い茎が地をはって分枝する多年草。葉は幅2-5mm、若い時には長毛がまばらにはえる。花期は5-6月。花茎は高さ10-20cm、花穂は直立し、長さ3-5cm。小穂はゆがんだ卵形で、長さ約3mmあって、幅の2-2.5倍。日本全土に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(草本 I)』(平凡社 1982)

資料 1-3 (19) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(ヒメガマ)

種名	ヒメガマ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	1地点で確認
	秋季	1地点で確認
一般生態	ガマ科ガマ属の多年草。茎の高さ1.5-2m。葉の幅は5-12mmである。雌花群と雄花群の間に花のつかない裸出した軸がある。雌花群は長さ6-20cm。雌花の花柄につく毛の中に、先がふくらみ扁平となったものがある。花粉は単粒で、互いに合着しない。国内では北海道～琉球に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(草本 I)』(平凡社 1982)

資料 1-3 (20) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(ガマ)

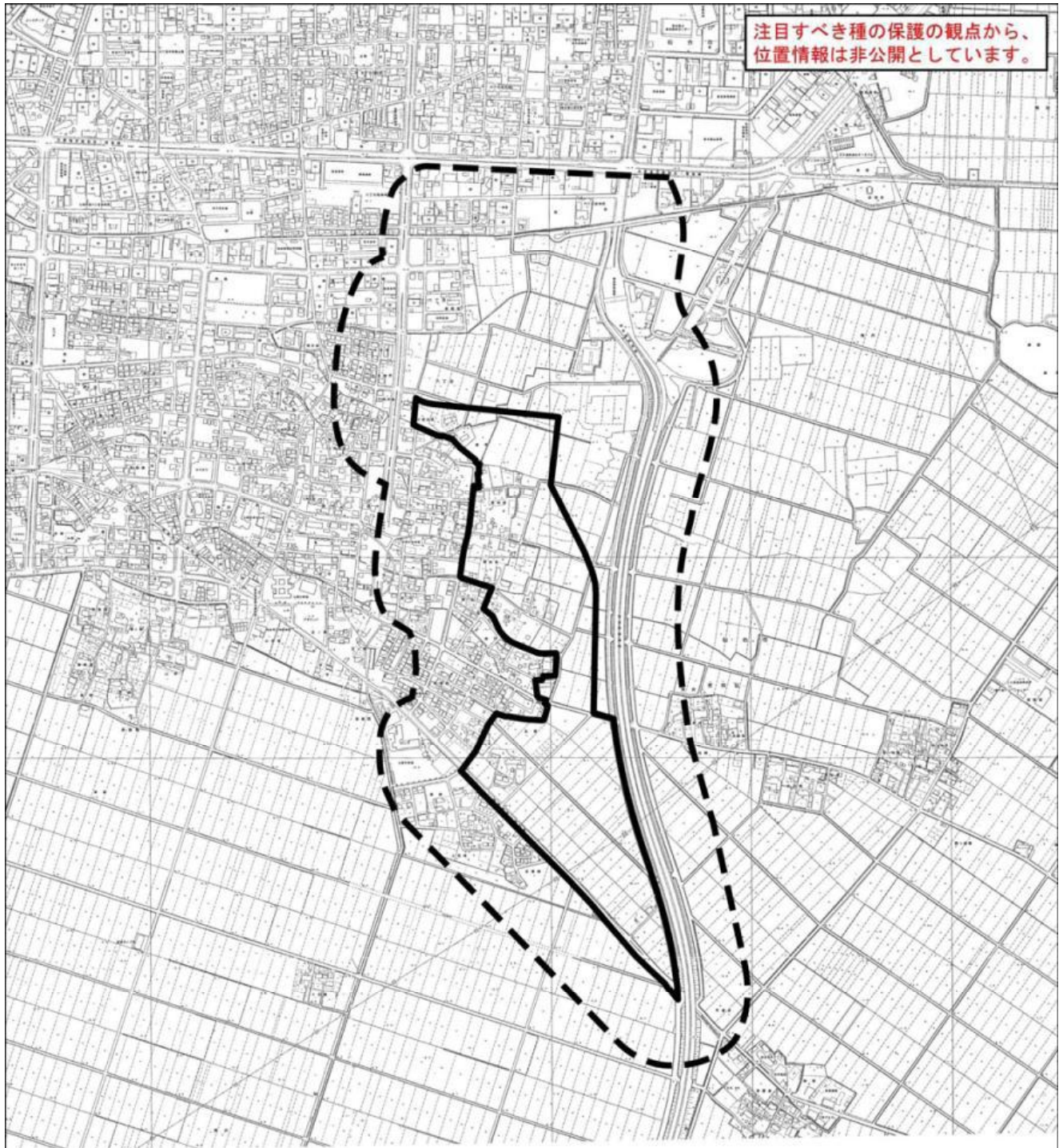
種名	ガマ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	1地点で確認
	秋季	確認できず
一般生態	ガマ科ガマ属の多年草。高さ1.5-2mある。根茎は泥の中を横にはい、ふつう群生する。葉は線形で長さ1-2m、幅1-2cmあり、厚くて毛はない。6-8月に、茎頂に花序をつける。雌花群と雄花群とは近接し、はじめそれぞれの下に苞があるが早く落ちる。雌花群は長さ10-20cm、花柄が伸びると太さ径15-20mmになる。雄花群は細く、長さ7-12cm。雄花群の中にやわらかい小苞があることがある。花粉は4個が合着している。国内では北海道～九州に分布する。	

*出典:『日本の野生植物(草本 I)』(平凡社 1982)

資料 1-3 (21) 注目すべき種(植物)の確認状況及び一般生態(ネジバナ)

種名	ネジバナ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	1地点で確認
	秋季	確認できず
一般生態	ラン科ネジバナ属の多年草。日当たりのよい草地に生える。根は数個が紡錘状に肥厚する。茎は高さ10-40cm、2-3個の葉と少数の鱗片葉がある。根出葉は数個、斜上し、広線形、鋭頭、長さ5-20cm、幅3-10mm、基部は鞘となる。鱗片葉は茎に圧着し、披針形。花は淡紅色、らせん状にねじれた穂状花序につく。花序は有毛。花期は4-10月と長い、春咲きのものと秋咲きのものは株を異にするようである。苞は狭卵状披針形、長鋭尖頭。萼片は披針形。側花弁は萼片よりすこし短く、背萼片とともにかぶとをつくる。唇弁は白色で倒卵形、鈍頭、萼片よりすこし長く、縁に細歯牙があり、先は反曲し、基部の両側に光沢のあるいぼがある。国内では北海道～九州に分布する。	

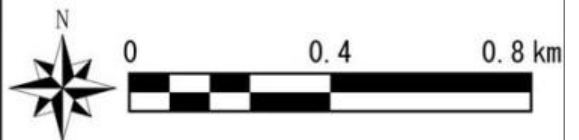
*出典:『日本の野生植物(草本 I)』(平凡社 1982)



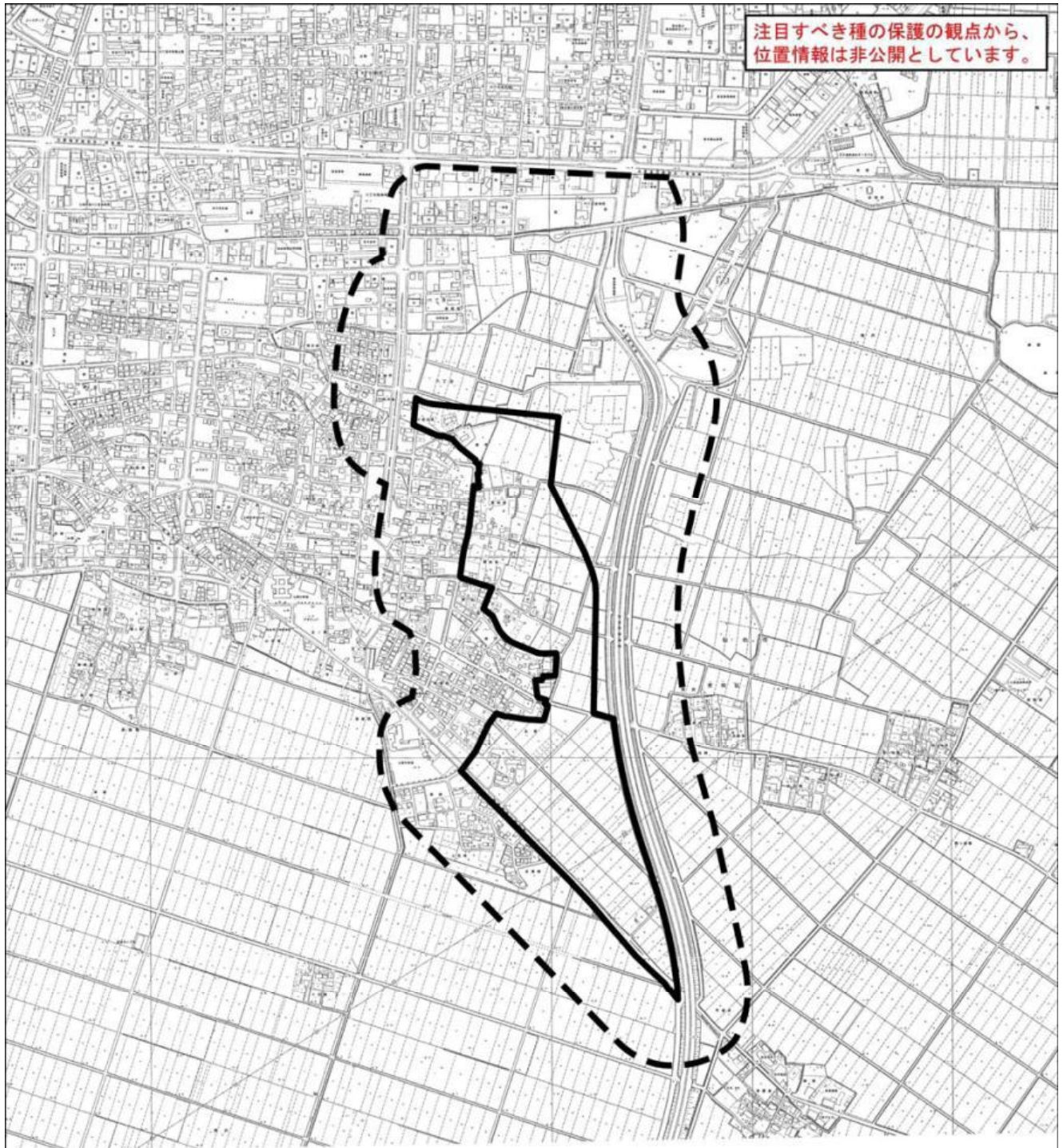
注目すべき種の保護の観点から、
位置情報は非公開としています。

凡 例

-  事業区域
-  調査範囲
-  確認位置



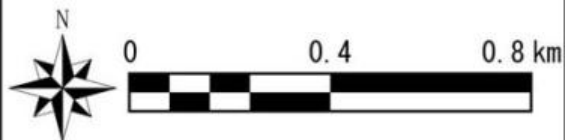
資料 1-4(1) 注目すべき種確認位置
(植物・春季)



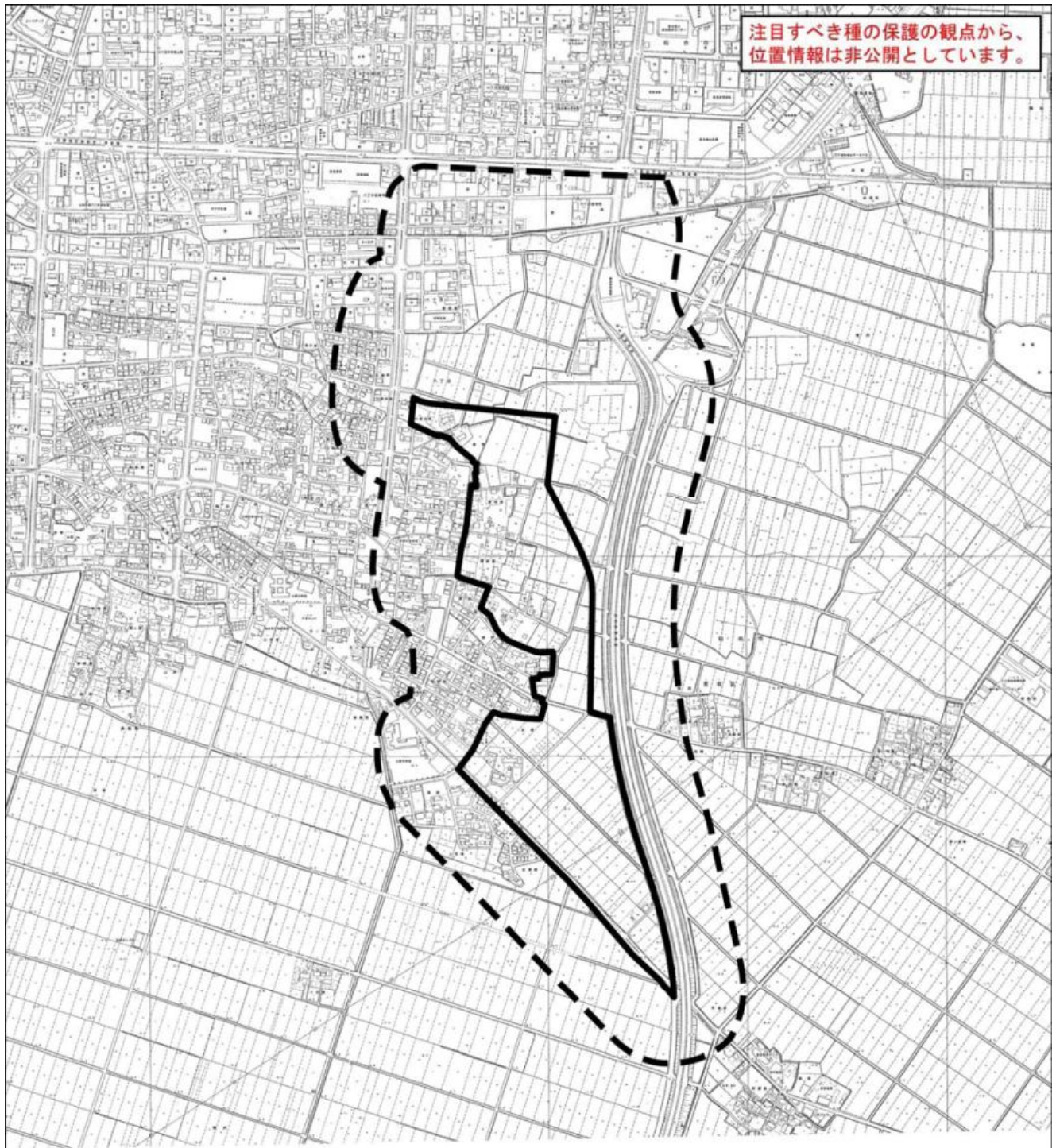
注目すべき種の保護の観点から、
位置情報は非公開としています。

凡 例

-  事業区域
-  調査範囲
-  確認位置



資料 1-4(2) 注目すべき種確認位置
(植物・夏季)



注目すべき種の保護の観点から、
位置情報は非公開としています。

凡 例

-  事業区域
-  調査範囲
-   確認位置



資料 1-4 (3) 注目すべき種確認位置
(植物・秋季)

【植生(現地調査結果)】

資料 1-5 (1) クロマツ植林組成表

調査地点 No.	No. 17	No. 19	No. 20	No. 24	No. 32
調査日	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/6
標高(m)	4	4	4	4	4
地形	斜面	斜面	斜面	斜面	斜面
方位	S70° E	S40° W	N40° E	N80° W	W
土壌	人工土	人工土	人工土	人工土	人工土
傾斜	25°	30°	25°	20°	25°
面積(m ²)	5×10	5×10	5×10	5×10	5×10
風当	中	中	中	中	中
日当	陽	陽	陽	陽	陽
土湿	適	適	適	適	適
出現種数	16	13	14	13	14
高木層高さ(m)	-	-	-	-	-
高木層植被(%)	-	-	-	-	-
亜高木層高さ(m)	10	10	10	10	10
亜高木層植被(%)	80	80	70	80	80
低木層高さ(m)	3	3.5	-	3.5	3
低木層植被(%)	5	10	-	10	1
草本層高さ(m)	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4
草本層植被(%)	10	50	40	50	50
亜高木層					
クロマツ	4・4	5・5	4・4	5・5	5・5
ツタ	1・1				+
クズ	1・1				
キヅタ					
低木層					
キヅタ	1・1				
フジ	1・1				
イロハモミジ		1・1		1・1	
ツタ					+
クズ					+
草本層					
オニウシノケグサ	1・1	2・2	2・2	2・2	2・2
スイカズラ	+	1・1	1・1	1・1	1・1
セイタカアワダチソウ	+	+	+	+	1・1
ヘクソカズラ	1・1	1・1	1・1		1・1
カモガヤ	1・1		1・1		+
アカネ	+		+		+
ツユクサ	+		+	+	
ヘラオオバコ		+	+	1・1	
スギナ			+	+	+
コヌカグサ	+			+	
ヨモギ	+		+		
オオウシノケグサ		2・2		2・2	
ノブドウ		+	+		
ツタ		+			+
セイヨウタンポポ		+			+
キヅタ	3・3				
ナガイモ	+				
フキ	+				
ススキ		+			
ヤブガラシ		+			
Festuca 属			+		
オッタチカタバミ			+		
ナガバギンギン				+	
イヌムギ				+	
オノゲシ				+	
イタドリ					1・1
ヌルデ					+
ツユクサ					+

資料 1-5(2) セイタカアワダチソウ群落組成表

調査地点 No.	No. 11
調査日	2016/7/6
標高(m)	3
地形	斜面
方位	S30° W
土壌	人工土
傾斜	20°
面積(m ²)	1×1
風当	中
日当	陽
土湿	適
出現種数	3
高木層高さ(m)	-
高木層植被(%)	-
亜高木層高さ(m)	-
亜高木層植被(%)	-
低木層高さ(m)	-
低木層植被(%)	-
草本層高さ(m)	0.2
草本層植被(%)	10
草本層	
セイタカアワダチソウ	1・1
イネ科	+
ツユクサ	+

資料 1-5(3) クサヨシ群落組成表

調査地点 No.	No. 2	No. 6
調査日	2016/7/6	2016/7/6
標高(m)	4	4
地形	河畔	河畔
方位	-	-
土壌	水面下	水面下
傾斜	-	-
面積(m ²)	1×1	2×2
風当	中	中
日当	陽	陽
土湿	過湿	過湿
出現種数	6	3
高木層高さ(m)	-	-
高木層植被(%)	-	-
亜高木層高さ(m)	-	-
亜高木層植被(%)	-	-
低木層高さ(m)	-	-
低木層植被(%)	-	-
草本層高さ(m)	0.8	0.5
草本層植被(%)	70	30
草本層		
クサヨシ	4・4	2・2
アメリカセンダングサ	+	+
スカシタゴボウ	+	+
セリ	1・1	
キツネノボタン	1・1	
フタリシズカ	1・1	

資料 1-5 (4) ヒメガマ群落組成表

調査地点 No.	No. 7
調査日	2016/7/6
標高 (m)	4
地形	河畔
方位	-
土壌	水面下
傾斜	-
面積 (m ²)	2×2
風当	中
日当	陽
土湿	過湿
出現種数	1
高木層高さ (m)	-
高木層植被 (%)	-
亜高木層高さ (m)	-
亜高木層植被 (%)	-
低木層高さ (m)	-
低木層植被 (%)	-
草本層高さ (m)	1.4
草本層植被 (%)	40
草本層	
ヒメガマ	3・3

資料 1-5 (5) ミクリ群落組成表

調査地点 No.	No. 21
調査日	2016/7/6
標高 (m)	3
地形	河畔
方位	-
土壌	水面下
傾斜	-
面積 (m ²)	1×2
風当	中
日当	陽
土湿	過湿
出現種数	3
高木層高さ (m)	-
高木層植被 (%)	-
亜高木層高さ (m)	-
亜高木層植被 (%)	-
低木層高さ (m)	-
低木層植被 (%)	-
草本層高さ (m)	1.2
草本層植被 (%)	60
草本層	
ミクリ	4・4
エゾノサヤヌカグサ	1・2
クサヨシ	1・1

資料 1-5(6) マコモ群落組成表

調査地点 No.	No. 4	No. 22
調査日	2016/7/6	2016/7/6
標高 (m)	4	3
地形	河畔	河畔
方位	-	-
土壌	水面下	水面下
傾斜	-	-
面積 (m ²)	1×2	0.5×2
風当	中	中
日当	陽	陽
土湿	過湿	過湿
出現種数	1	3
高木層高さ (m)	-	-
高木層植被 (%)	-	-
亜高木層高さ (m)	-	-
亜高木層植被 (%)	-	-
低木層高さ (m)	-	-
低木層植被 (%)	-	-
草本層高さ (m)	1.5	1.6
草本層植被 (%)	90	80
草本層		
マコモ	5・5	5・5
ウキヤガラ		1・1
エゾノサヤヌカグサ		+

資料 1-5 (7) 畑地雑草群落組成表

調査地点 No.	No. 9	No. 25	No. 27
調査日	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/7
標高(m)	4	3	3
地形	平坦地	平坦地	平坦地
方位	-	-	-
土壌	人工土	人工土	人工土
傾斜	-	-	-
面積(m ²)	1×1	1×1	0.5×2
風当	中	中	中
日当	陽	陽	陽
土湿	適	適	適
出現種数	9	10	14
高木層高さ(m)	-	-	-
高木層植被(%)	-	-	-
亜高木層高さ(m)	-	-	-
亜高木層植被(%)	-	-	-
低木層高さ(m)	-	-	-
低木層植被(%)	-	-	-
草本層高さ(m)	0.1	0.2	0.4
草本層植被(%)	30	60	60
草本層			
ノボロギク	1・1	1・1	1・1
ハキダメギク	+	2・2	1・1
ツユクサ	+	1・1	1・1
コハコベ	+	+	1・1
イネ科	+	+	+
スギナ	+	1・1	
スベリヒユ	+		+
イヌビユ	+		
コアカザ	+		
カタバミ		+	
コニシキソウ		+	
カラスビシャク		+	
ハルジオン		+	
スカシタゴボウ			1・1
イヌタデ			+
ホトケノザ			+
トキンソウ			+
オオアレチノギク			+
スズメノカタビラ			+
エノキグサ			+
Eclipta 属			+

資料 1-5 (8) 水田雑草群落組成表

調査地点 No.	No. 1	No. 5	No. 8	No. 26	No. 29	No. 30	No. 31
調査日	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/7	2016/7/7
標高(m)	4	4	4	3	3	3	3
地形	平坦地	平坦地	平坦地	平坦地	平坦地	平坦地	平坦地
方位	-	-	-	-	-	-	-
土壌	グライ土	グライ土	グライ土	グライ土	グライ土	グライ土	グライ土
傾斜	-	-	-	-	-	-	-
面積(m ²)	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2
風当	中	中	中	中	中	中	中
日当	陽	陽	陽	陽	陽	陽	陽
土湿	湿	湿	湿	湿	湿	湿	湿
出現種数	6	4	7	4	4	11	7
高木層高さ(m)	-	-	-	-	-	-	-
高木層植被(%)	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層高さ(m)	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層植被(%)	-	-	-	-	-	-	-
低木層高さ(m)	-	-	-	-	-	-	-
低木層植被(%)	-	-	-	-	-	-	-
草本層高さ(m)	0.4	0.6	0.4	0.6	0.6	0.4	0.6
草本層植被(%)	60	60	50	60	40	60	60
草本層							
スズメノテッポウ	1・1		+	+			1・1
クサネム	1・1		+			1・1	+
イネ		4・4		4・4	3・3		3・3
セリ	2・2		+	+			
イヌビエ	1・1		2・2				1・1
スカシタゴボウ	+	+				1・1	
ツユクサ		1・1		+		+	
イボクサ		+	2・2		1・1		
イヌホタルイ			+		+		
アメリカアゼナ					+	+	
Schoenoplectus 属						+	+
スギナ	1・1						
チョウジタデ			+				
イヌビエ						3・3	
アオウキクサ						+	
タネツケバナ						+	
トキンソウ						+	
ヒメジソ						+	
Eclipta 属						+	
ヤナギタデ							1・1
ノミノフスマ							+

資料 1-5 (9) 法面雑草群落組成表

調査地点 No.	No. 10
調査日	2016/7/6
標高 (m)	3
地形	斜面
方位	S20° E
土壌	人工土
傾斜	20°
面積 (m ²)	2×2
風当	中
日当	陽
土湿	適
出現種数	5
高木層高さ (m)	-
高木層植被 (%)	-
亜高木層高さ (m)	-
亜高木層植被 (%)	-
低木層高さ (m)	-
低木層植被 (%)	-
草本層高さ (m)	0.4
草本層植被 (%)	60
草本層	
オニウシノケグサ	4・4
ヨモギ	+
スギナ	+
セイタカアワダチソウ	+
ツユクサ	+

資料 1-5 (10) 空地雑草群落組成表

調査地点 No.	No. 3	No. 12	No. 13	No. 14	No. 15	No. 16	No. 18	No. 23	No. 28
調査日	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/6	2016/7/6
標高(m)	4	5	4	4	4	4	4	4	3
地形	平坦地	平坦地	平坦地	平坦地	平坦地	平坦地	平坦地	平坦地	平坦地
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-
土壌	人工土	人工土	人工土	人工土	人工土	人工土	人工土	人工土	人工土
傾斜	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°
面積(m ²)	2×2	1×1	1×1	2×2	2×2	1×1	2×2	2×2	2×2
風当	中	中	中	中	中	中	中	中	中
日当	陽	陽	陽	陽	陽	陽	陽	陽	陽
土湿	適	乾	適	適	適	適	適	適	適
出現種数	9	5	11	2	7	9	5	7	11
高木層高さ(m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層植被(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層高さ(m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層植被(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層高さ(m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層植被(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層高さ(m)	0.3	0.3	0.3	0.05	0.7	0.1	0.3	0.2	0.5
草本層植被(%)	60	50	50	5	40	20	20	40	70
草本層									
イネ科	1・1		1・1	1・1		+		+	
セイヨウタンポポ	1・1	1・1	1・1					+	
セイタカアワダチソウ	1・1		+					+	1・1
ヒメジョオン	+		1・1					+	+
ヘラオオバコ	1・1	1・1	1・1						
ヨモギ			+		1・1				1・1
ヤハズソウ	2・2		1・1						
シロツメクサ	1・1							2・3	
ヒメムカシヨモギ		+					+		
コセンダングサ			+				+		
スギナ			+						+
アキノエノコログサ					1・1				1・1
シロザ					+		+		
ネジバナ	+								
オオバコ	+								
マルバヤハズソウ		2・2							
ナギナタガヤ		2・2							
チガヤ			1・1						
カタバミ			+						
コシキソウ				+					
オオイスタデ					2・2				
コメツブツメクサ					+				
ミチヤナギ					+				
アメリカセンダングサ					+				
ハルジオン						1・1			
オッタチカタバミ						1・1			
エノキグサ						+			
ハキダメギク						+			
オニノゲン						+			
タチイヌノフグリ						+			
スズメノカタビラ						+			
エノコログサ							2・2		
コスズメガヤ							1・1		
Solanum 属							+		
ハハコグサ								1・1	
メマツヨイグサ								+	
コブナグサ									2・2
ヨシ									1・1
ヤブツルアズキ									1・1
カナムグラ									+
オギ									+
イシミカワ									+

2 動物

【注目すべき種（選定基準Ⅺ・Ⅻにおける全ランクを含む）】

資料 2-1 (1) 選定基準

	選定基準となる法律・文献など	調査項目				
		鳥類	両生類	昆虫類	魚類	底生動物
I	『文化財保護法』（昭和 25 年法律第 214 号）に基づく国の天然記念物（天） ・特別天然記念物（特）	○	○	○	○	○
II	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律』（平成 4 年法律第 75 号） に示されている種 ・国内希少野生動植物種(国内) ・国際希少野生動植物種(国際)	○	○	○	○	○
III	『鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直し について』（環境省，2006 年） ・絶滅（EX）・野生絶滅（EW）・絶滅危惧 I 類（CR+EN） ・絶滅危惧 IA 類（CR）・絶滅危惧 IB 類（EN）・絶滅危惧 II 類（VU） ・準絶滅危惧（NT）・情報不足（DD）・絶滅のおそれのある地域個体群（LP）	○	○			○
IV	『哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物 I 及び植物 II のレッドリストの 見直しについて』（環境省，2007 年） ・(カテゴリはⅢに同じ)			○	○	○
V	『環境省第 4 次レッドリスト』（環境省，2012 年～2013 年） ・(カテゴリはⅢに同じ)	○	○	○	○	○
VI	『環境省レッドリスト 2015』（環境省，2015 年） ・(カテゴリはⅢに同じ)	○	○	○	○	○
VII	『宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドデータブック-』（宮城県，2001 年） ・絶滅（EX）・野生絶滅（EW）・絶滅危惧 I 類（CR+EN）・絶滅危惧 II 類（VU） ・準絶滅危惧（NT）・情報不足（DD）・絶滅のおそれのある地域個体群（LP） ・要注目種（要）	○	○	○	○	○
VIII	『宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト 2013 年版-』（宮城県，2013 年） ・(カテゴリはⅥに同じ)	○	○	○	○	○
IX	『宮城県の絶滅のおそれのある野生動植物-RED DATA BOOK MIYAGI 2016-』（ 宮城県，2016 年） ・(カテゴリはⅥに同じ)	○	○	○	○	○
X	『平成 6 年度自然環境基礎調査報告書』（仙台市，1995 年）において 「保全上重要な植物種」とされる種 ・レッドデータブック該当種（A）・希産種：市内の出現頻度がごくまれ（B1） ・希産種：市内の出現頻度がまれ（B2） ・分布限界種：仙台市付近が北限及び南限とする種（C1） ・分布限界種：県内における分布頻度が、まれ又はごくまれの種（C2） ・基準標本種（D）・景観構成種（E） ・絶滅危険種：レッドデータブックのリストには含まれていないが、 仙台市において絶滅が心配される種（F1） ・絶滅危険種：レッドデータブックのリストには含まれていないが、 全国レベルでそれらに準じる種（F2）	○	○	○	○	○

資料 2-1 (2) 選定基準

選定基準となる法律・文献など		調査項目				
		鳥類	両生類	昆虫類	魚類	底生動物
XI	『平成 15 年度自然環境基礎調査報告書』(仙台市, 2004 年) 【学術上重要な種】 ・仙台市においてもともと希産あるいは希少である種。あるいは分布が限定されている種(1) ・仙台市が分布の北限、南限となっている種。あるいは隔離分布となっている種(2) ・仙台市が模式産地(タイプロカリティー)となっている種(3) ・その他、学術上重要な種(4) 【減少種】 ・現在ほとんど見ることができない種(A)・減少が著しい種(B) ・減少している種(C) 【環境指標種】 【ふれあい種】	○	○	○	○	○
XII	『平成 22 年度自然環境基礎調査報告書』(仙台市, 2011 年) 『平成 22 年度自然環境基礎調査報告書』(仙台市, 2011 年) 【学術上重要な種】 【環境指標種】 【ふれあい種】 ・(カテゴリはXに同じ) 【減少種】 ・現在ほとんど見ることができない種(A)・減少が著しい種(B) ・減少している種(C)・普通に見られる(*) ・生息・生育していない可能性が非常に大きい(/)	○	○	○	○	○
XIII	平成 18 年調査時の生態系の上位性の種	○				

【鳥類(現地調査結果)】

資料2-2(1) ラインセンサス調査結果(春季)

目名	科名	種名	R1		R2	
			個体数	(優占)	個体数	(優占)
カモ	カモ	カルガモ	5	(2.2)	19	(16.0)
		コガモ	11	(4.7)		
ハト	ハト	キジバト	5	(2.2)	1	(0.8)
		カワラバト	14	(6.0)	1	(0.8)
ベリカン	サギ	ダイサギ	2	(0.9)	2	(1.7)
チドリ	チドリ	コチドリ	1	(0.4)	2	(1.7)
	シギ	チュウシャクシギ			1	(0.8)
	カモメ	ウミネコ			33	(27.7)
タカ	タカ	トビ			1	(0.8)
スズメ	モズ	モズ	1	(0.4)	1	(0.8)
	カラス	ハシボソガラス	9	(3.9)	3	(2.5)
		ハシブトガラス	1	(0.4)		
	ヒバリ	ヒバリ	20	(8.6)	3	(2.5)
	ツバメ	ツバメ	6	(2.6)	2	(1.7)
	ヒヨドリ	ヒヨドリ			11	(9.2)
	ムシクイ	センダイムシクイ			1	(0.8)
	ムクドリ	ムクドリ	95	(40.9)	8	(6.7)
	ヒタキ	ツグミ			1	(0.8)
	スズメ	スズメ	40	(17.2)	15	(12.6)
	セキレイ	ハクセキレイ	7	(3.0)	11	(9.2)
	アトリ	カワラヒワ	15	(6.5)	3	(2.5)
	6 目	18 科	21 種	15 種		19 種
232 個体				(100.0)	119 個体	(100.0)

※種名は『日本鳥類目録 改定第7版』（日本鳥学会 2015年）に準拠した。

資料2-2(2) ラインセンサス調査結果(夏季)

目名	科名	種名	R1		R2	
			個体数	(優占)	個体数	(優占)
カモ	カモ	カルガモ	12	(20.3)	1	(0.9)
ハト	ハト	キジバト	1	(1.7)		
ベリカン	サギ	ゴイサギ			1	(0.9)
		アオサギ	1	(1.7)		
		ダイサギ	1	(1.7)	1	(0.9)
ツル	クイナ	バン	3	(5.1)		
スズメ	カラス	ハシボソガラス	1	(1.7)	3	(2.8)
		ハシブトガラス	4	(6.8)		
	ヒバリ	ヒバリ	1	(1.7)		
	ツバメ	ツバメ	17	(28.8)	9	(8.5)
	ヒヨドリ	ヒヨドリ			1	(0.9)
	セッカ	セッカ			2	(1.9)
	ムクドリ	ムクドリ			17	(16.0)
	スズメ	スズメ	4	(6.8)	54	(50.9)
	セキレイ	ハクセキレイ	5	(8.5)	4	(3.8)
アトリ	カワラヒワ	9	(15.3)	13	(12.3)	
5 目	13 科	16 種	12 種		11 種	
			59 個体	(100.0)	106 個体	(100.0)

※種名は『日本鳥類目録 改定第7版』（日本鳥学会 2015年）に準拠した。

資料2-2(3) ラインセンサス調査結果(秋季)

目名	科名	種名	R1		R2		
			個体数	(優占)	個体数	(優占)	
カモ	カモ	カルガモ	21	(5.7)			
		コガモ	11	(3.0)			
ハト	ハト	キジバト	5	(1.4)	1	(0.6)	
		カワラバト	22	(6.0)	15	(9.6)	
ペリカン	サギ	アオサギ	1	(0.3)			
		ダイサギ	2	(0.5)	3	(1.9)	
		チュウサギ	1	(0.3)			
ツル	クイナ	バン	5	(1.4)			
チドリ	シギ	タシギ			4	(2.6)	
タカ	タカ	トビ	2	(0.5)			
ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ			1	(0.6)	
スズメ	モズ	モズ	1	(0.3)	3	(1.9)	
		カラス	ハシボソガラス	83	(22.7)	7	(4.5)
			ハシブトガラス	13	(3.6)	8	(5.1)
		ヒバリ	ヒバリ	3	(0.8)		
		ヒヨドリ	ヒヨドリ	4	(1.1)		
		ムクドリ	ムクドリ	36	(9.8)	27	(17.3)
		ヒタキ	イソヒヨドリ			2	(1.3)
		スズメ	スズメ	134	(36.6)	83	(53.2)
		セキレイ	ハクセキレイ	22	(6.0)	2	(1.3)
8 目	15 科	20 種	17 種		12 種		
			366 個体	(100.0)	156 個体	(100.0)	

※種名は『日本鳥類目録 改定第7版』（日本鳥学会 2015年）に準拠した。

資料2-2(4) ラインセンサス調査結果(冬季)

目名	科名	種名	R1		R2		
			個体数	(優占)	個体数	(優占)	
カモ	カモ	カルガモ	5	(1.3)			
		コガモ	24	(6.3)			
ハト	ハト	キジバト	6	(1.6)	3	(2.9)	
		カワラバト	45	(11.9)			
カツオドリ	ウ	カワウ	2	(0.5)			
ペリカン	サギ	アオサギ	1	(0.3)			
タカ	タカ	トビ	5	(1.3)			
		ノスリ			1	(1.0)	
スズメ	モズ	モズ	1	(0.3)			
		カラス	ミヤマガラス	6	(1.6)		
			ハシボソガラス	36	(9.5)		
			ハシブトガラス	1	(0.3)	1	(1.0)
		ヒバリ	ヒバリ	2	(0.5)		
		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2	(0.5)		
		ムクドリ	ムクドリ	28	(7.4)	5	(4.9)
		ヒタキ	ツグミ	12	(3.2)	3	(2.9)
		スズメ	スズメ	119	(31.5)	76	(74.5)
		セキレイ	ハクセキレイ	2	(0.5)	1	(1.0)
ビンズイ	1		(0.3)				
	アトリ	カワラヒワ	80	(21.2)	12	(11.8)	
6 目	14 科	20 種	19 種		8 種		
			378 個体	(100.0)	102 個体	(100.0)	

※種名は『日本鳥類目録 改定第7版』（日本鳥学会 2015年）に準拠した。

資料2-3(1) 定点センサス調査結果(春季)

目名	科名	種名	P1		P2		P3		P4		P5		P6		P7		P8					
			個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)		
キジ	キジ	キジ																				
カモ	カモ	カルガモ	2	(5.6)			1	(7.1)				5	(8.9)			2	(7.1)		1	(3.1)		
		コガモ	2	(5.6)																1	(3.1)	
ハト	ハト	キジバト										2	(3.6)									
		カワラバト														16	(57.1)					
ペリカン	サギ	ダイサギ	1	(2.8)																1	(3.1)	
チドリ	チドリ	ムナグロ																				
		コサドリ			1	(5.0)						1	(1.8)									
カモメ	カモメ	ウミネコ	15	(41.7)	4	(20.0)	5	(35.7)	1	(1.8)	2	(3.6)										
タカ	タカ	オオタカ																				
ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	1	(2.8)																		
		ハヤブサ																			1	(3.1)
スズメ	モズ	モズ										1	(1.8)									
	カラス	ハシボトガラス	1	(2.8)	1	(5.0)	1	(7.1)	2	(3.5)	2	(3.5)	1	(8.3)	1	(3.6)					2	(6.3)
		ハシボトガラス			1	(5.0)			2	(3.5)	2	(3.6)										
	ヒバリ	ヒバリ	2	(5.6)	4	(20.0)	2	(14.3)	3	(5.3)	1	(1.8)				4	(14.3)				9	(28.1)
	ツバメ	ツバメ	2	(5.6)	3	(15.0)															3	(25.0)
	ヒヨドリ	ヒヨドリ							43	(75.4)												
	セッカ	セッカ	1	(2.8)																		
	ムクドリ	ムクドリ	4	(11.1)	3	(15.0)	1	(7.1)				5	(8.9)			1	(3.6)					
	スズメ	スズメ	1	(2.8)					2	(3.5)											3	(25.0)
	セキレイ	ハクセキレイ	4	(11.1)	2	(10.0)	1	(7.1)	1	(1.8)	2	(3.6)				3	(10.7)				1	(3.1)
	アトリ	カワラヒロ			1	(5.0)	3	(21.4)				1	(1.8)								2	(16.7)
		マヒワ																			1	(8.3)
8目	18科	24種	12種	(100.0)	9種	(100.0)	7種	(100.0)	10種	(100.0)	11種	(100.0)	6種	(100.0)	7種	(100.0)	9種	(100.0)				
			36個体	(100.0)	20個体	(100.0)	14個体	(100.0)	57個体	(100.0)	56個体	(100.0)	12個体	(100.0)	28個体	(100.0)	32個体	(100.0)				

※種名は『日本鳥類目録 改定第7版』(日本鳥学会 2015年)に準拠した。

資料2-3(2) 定点センサス調査結果(夏季)

目名	科名	種名	P1		P2		P3		P4		P5		P6		P7		P8			
			個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)
カモ	カモ	カルガモ					1	(3.3)										5	(13.9)	
ハト	ハト	キジバト					3	(10.0)				2	(4.2)							
サギ	サギ	ゴイサギ	2	(5.6)																
		ダイサギ	6	(16.7)	1	(3.3)	5	(16.7)				1	(2.1)							
		チュウサギ																2	(5.6)	
タカ	タカ	トビ	1	(2.8)	2	(6.7)			1	(5.0)		1	(2.1)			1	(2.3)			
ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ																1	(2.8)	
スズメ	モズ	モズ										1	(2.1)					1	(2.8)	
	カラス	ハンボソガラス	4	(11.1)	3	(10.0)	2	(6.7)								2	(4.5)			
		ハンブトガラス					2	(6.7)	1	(5.0)										
	ヒバリ	ヒバリ			1	(3.3)										2	(4.5)			
	ツバメ	ツバメ	5	(13.9)	3	(10.0)	1	(3.3)				7	(14.6)	3	(23.1)	6	(13.6)	7	(19.4)	
	セッカ	セッカ	2	(5.6)	1	(3.3)	1	(3.3)												
	ムクドリ	ムクドリ	13	(36.1)	8	(26.7)	4	(13.3)				30	(62.5)					4	(11.1)	
	スズメ	スズメ	2	(5.6)	8	(26.7)	1	(3.3)				5	(10.4)	9	(69.2)	32	(72.7)	15	(41.7)	
	セキレイ	ハクセキレイ			2	(6.7)						1	(2.1)			1	(2.3)	1	(2.8)	
	アトリ	カワラヒロ	1	(2.8)	1	(3.3)	10	(33.3)						1	(7.7)					
6目	14科	17種	9種	(100.0)	10種	(100.0)	30個体	(100.0)	30個体	(100.0)	6種	(100.0)	48個体	(100.0)	13個体	(100.0)	44個体	(100.0)	36個体	(100.0)
			36個体	(100.0)	30個体	(100.0)	30個体	(100.0)	30個体	(100.0)	6種	(100.0)	48個体	(100.0)	13個体	(100.0)	44個体	(100.0)	36個体	(100.0)

※種名は『日本鳥類目録 改定第7版』(日本鳥学会 2015年)に準拠した。

資料2-3(3) 定点センサス調査結果(秋季)

目名	科名	種名	P1		P2		P3		P4		P5		P6		P7		P8		
			個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数
カモ	カモ	カルガモ																	
ハト	ハト	キジバト カララバト			13	(23.6)						19	(18.1)						
パリカン	サギ	アオサギ ダイサギ チュウサギ	6	(28.6)															
タカ	タカ	トビ ノスリ					3	(20.0)				4	(3.8)			10	(18.2)		
スズメ	モズ	モズ	3	(14.3)	3	(5.5)						11	(10.5)						
	カラス	ハシボソガラス ハシブトガラス	2	(9.5)	9	(16.4)	5	(33.3)	19	(34.5)	2	(1.9)			1	(1.8)			
	ヒバリ	ヒバリ	4	(19.0)	10	(18.2)	3	(20.0)	4	(7.3)	17	(16.2)	4	(19.0)			10	(18.2)	
	ヒヨドリ	ヒヨドリ									13	(12.4)							
	ムクドリ	ムクドリ	6	(28.6)							6	(5.7)			4	(7.3)			
	スズメ	スズメ							1	(1.8)				10	(47.6)	10	(18.2)		
	セキレイ	ハクセキレイ			18	(32.7)	4	(26.7)	7	(12.7)	14	(13.3)	7	(33.3)	14	(25.5)	6	(7.7)	
5目	11科	16種	5種	(100.0)	6種	(100.0)	4種	(100.0)	6種	(100.0)	10種	(100.0)	3種	(100.0)	7種	(100.0)	8種	(100.0)	
			21個体	(100.0)	55個体	(100.0)	15個体	(100.0)	55個体	(100.0)	105個体	(100.0)	21個体	(100.0)	55個体	(100.0)	78個体	(100.0)	

※種名は『日本鳥類目録 改定第7版』(日本鳥学会 2015年)に準拠した。

資料2-3(4) 定点センサス調査結果(冬季)

目名	科名	種名	P1		P2		P3		P4		P5		P6		P7		P8			
			個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)	個体数	(優占)
ハト	ハト	キジバト									1	(4.3)								
カツオドリ	ウ	カワラバト	10	(14.9)	28	(90.3)					6	(26.1)								
ペリカン	サギ	カワウ																		
タカ	タカ	ダイサギ																		
スズメ		トビ	2	(3.0)	1	(3.2)	2	(16.7)	1	(3.3)	1	(4.3)	5	(13.2)						
		ノスリ											1	(2.6)						
		モズ									1	(4.3)								
		カラス											15	(39.5)						
			ミヤマガラス										12	(31.6)						
			ハンボソガラス	2	(6.5)	2	(16.7)	4	(13.3)	4	(13.3)			2	(5.3)					
			ハンブトガラス								3	(13.0)								
		ヒバリ	ヒバリ															11	(9.2)	
		ヒヨドリ	ヒヨドリ									1	(4.3)							
		ムクドリ	ムクドリ									4	(17.4)					14	(11.8)	
	ヒタキ	ツグミ	7	(10.4)					1	(3.3)	2	(8.7)	1	(12.5)	1	(2.6)	2	(1.7)		
	セキレイ	スズメ	40	(59.7)					24	(80.0)			6	(75.0)			62	(52.1)		
		ハクセキレイ					1	(8.3)					1	(12.5)	2	(5.3)				
		アトリ	8	(11.9)			7	(58.3)			4	(17.4)					23	(19.3)		
5目	13科	17種	5種	(100.0)	3種	(100.0)	4種	(100.0)	4種	(100.0)	23個体	(100.0)	9種	(100.0)	8個体	(100.0)	38個体	(100.0)	119個体	(100.0)
			67個体	(100.0)	31個体	(100.0)	12個体	(100.0)	30個体	(100.0)	23個体	(100.0)	23個体	(100.0)	8個体	(100.0)	38個体	(100.0)	119個体	(100.0)
														3種		7種		10種		

※種名は『日本鳥類目録 改定第7版』(日本鳥学会 2015年)に準拠した。

資料2-4 注目すべき種（鳥類）一覧

種名	選定基準																			
	I	II	III	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI				XII				XIII		
										学術上重要種	減少種		環境指標種	ふれあい種	学術上重要種	減少種			環境指標種	ふれあい種
											市街地	田園				市街地	東部田園			
ゴイサギ																				○
ササゴイ																				○
アオサギ																				○
ダイサギ																				○
チュウサギ			NT	NT	NT	NT			1	1, 2, 4	A	C			1, 2, 4	A	C			○
コサギ										2	B		●	○	2	B	*	●	○	○
バン											B	C	●			B	C	●		
ミサゴ			NT	NT	NT	NT			1, 6	1, 4					1, 4		C	●		
オオタカ		国内	NT	NT	NT	NT	NT	NT	1, 6	1, 4	B	B	●	○	1, 4	B	B	●	○	
ノスリ																C	C	●		○
チョウゲンボウ											B	C		○		B	C		○	○
コチョウゲンボウ																			○	○
ハヤブサ		国内	VU	VU	VU	NT	NT	NT	1, 6	1, 4	B	B			1, 4	B	B			○
モズ											B	C	●	○		B	C	●	○	
ヒバリ											B		●	○		B	C	●	○	
ツバメ																C	C	●		
センダイムシクイ											B		●			B		●		
メジロ										5										
セッカ										5	B	C	●			B	C	●		
セグロセキレイ										4					4	C	C			
ホオジロ											B			○		B	C	●		
アオジ										1	C	B				C	C			
25種	0種	2種	4種	4種	4種	4種	2種	2種	6種	8種	15種	8種	9種	7種	7種	18種	18種	13種	6種	10種

※黄色で着色した種は、選定基準 I～X、XIIIに該当する種、または選定基準XI、XIIの「学術上重要な植物種」及び「減少種の中でも特に希とされるAランク」に該当する種である。確認状況、一般生態、確認位置は本編参照。

※選定基準は資料2-1に示す。

資料 2-5(1) 注目すべき種(鳥類)の確認状況及び一般生態(バン)

種名	バン	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	2地点で確認
	秋季	1地点で確認
	冬季	確認できず
一般生態	本州北部以北では夏鳥で、それより南では留鳥または冬鳥。平地から山地の湖沼、池、河川、水田、湿地などに生息し、ヨシ、マコモ、イ、ガマなどの草むらや水田に枯れ草を積み上げて、皿形の巣を雌雄共同でつくる。水面を泳いだり、水辺や浮葉植物の上を歩いたりしながら、水草の葉、茎、種子を食べるほか、水辺の昆虫や貝、甲殻類、オタマジャクシ、ミミズなども採食する。	

*出典：『原色日本野鳥生態図鑑<水鳥編>』（保育社 1995）
『山溪ハンディ図鑑 7 新版日本の野鳥』（山と溪谷社 2014）

資料 2-5(2) 注目すべき種(鳥類)の確認状況及び一般生態(モズ)

種名	モズ	
確認状況	春季	3地点で確認
	夏季	7地点で確認
	秋季	8地点で確認
	冬季	5地点で確認
一般生態	日本では、全国各地に留鳥として年中生息する。北海道のモズは、冬に残留するものもあるが、大部分は本州以南の温暖な地域に移動する。集落や農耕地の周辺、河原、自然公園、高原、林縁など、低木のある開けた環境であれば、至るところで繁殖する。繁殖終了後は、一時的に繁殖地から姿を消す。主に昆虫類、カエル、ミミズ、トカゲなどを食べ、小さい木の実を食べることもある。	

*出典：『原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>』（保育社 1995）
『山溪ハンディ図鑑 7 新版日本の野鳥』（山と溪谷社 2014）

資料 2-5(3) 注目すべき種(鳥類)の確認状況及び一般生態(ヒバリ)

種名	ヒバリ	
確認状況	春季	29地点で確認
	夏季	25地点で確認
	秋季	4地点で確認
	冬季	3地点で確認
一般生態	留鳥として九州以北で繁殖するが、積雪の多い地方では冬は南下し、北海道では夏鳥。沖縄では旅鳥または冬鳥として渡来する。背丈の低い草地や砂地、農耕地、川原、荒地などに生息し、露出した地面の多い乾燥地を好む。草地の地上に営巣する。地上での行動が多く、植物の種子、昆虫類やクモ類などを歩き回りながらついでに採食する。	

*出典：『原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>』（保育社 1995）
『山溪ハンディ図鑑 7 新版日本の野鳥』（山と溪谷社 2014）

資料 2-5 (4) 注目すべき種(鳥類)の確認状況及び一般生態(ツバメ)

種名	ツバメ	
確認状況	春季	11地点で確認
	夏季	52地点で確認
	秋季	確認できず
	冬季	確認できず
一般生態	夏鳥として全国に渡来するが、本州中部以南では越冬する。市街地や田畑、海岸、河川など様々な環境に生息する。建造物に、泥と枯草に唾液を混ぜて椀形の巣をつくる。比較的低空を飛び回って、飛んでいる昆虫類をとる。	

*出典：『原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>』（保育社 1995）
『山溪ハンディ図鑑 7 新版日本の野鳥』（山と溪谷社 2014）

資料 2-5 (5) 注目すべき種(鳥類)の確認状況及び一般生態(センダイムシクイ)

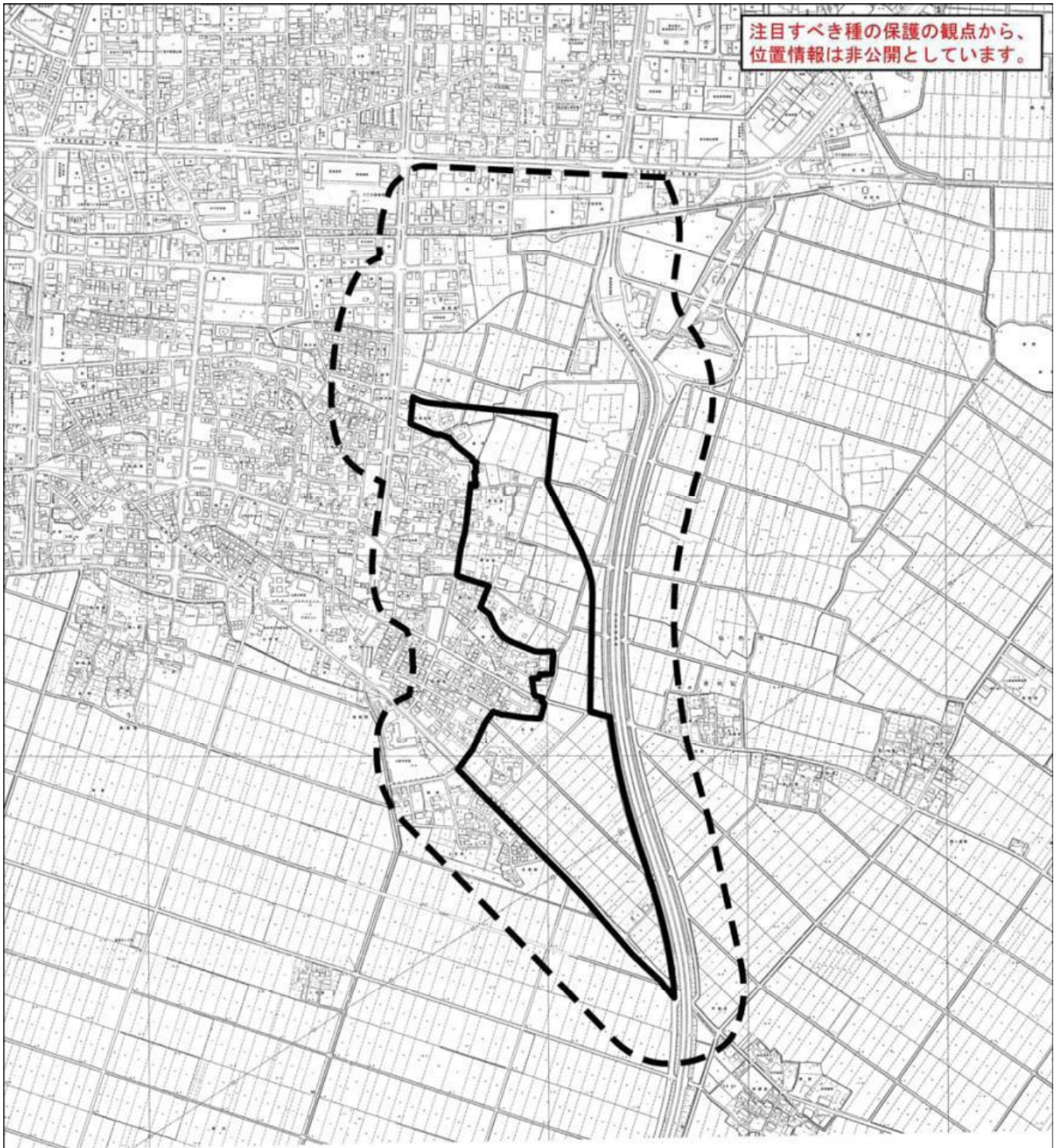
種名	センダイムシクイ	
確認状況	春季	1地点で確認
	夏季	確認できず
	秋季	確認できず
	冬季	確認できず
一般生態	日本には夏鳥として渡来し、北海道から九州までの各地で繁殖する。低山帯の低木や藪の多い落葉広葉樹林に好んで生息する。北海道では平地林にも生息するが、本州では傾斜のある林を好み、山地の谷間や沢筋に多い。渡りの時期には市街地の街路樹や公園、庭などにも姿を現す。地上に降りることはまれ。主に昆虫食で鞘翅類・膜翅類・双翅類などの幼虫や成虫を食べる。	

*出典：『原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>』（保育社 1995）
『山溪ハンディ図鑑 7 新版日本の野鳥』（山と溪谷社 2014）

資料 2-5 (6) 注目すべき種(鳥類)の確認状況及び一般生態(ホオジロ)

種名	ホオジロ	
確認状況	春季	確認できず
	夏季	確認できず
	秋季	確認できず
	冬季	1地点で確認
一般生態	留鳥または漂鳥として平地から山地の農耕地、藪地、草原、河原、疎林などに生息する。繁殖期以外は小群で生活するものが多い。地上や藪の小枝の叉に、枯れ草や草の根などを用いて椀形の巣をつくる。繁殖期は主に昆虫類を、非繁殖期には主に草木の種子を摂食。	

*出典：『原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>』（保育社 1995）
『山溪ハンディ図鑑 7 新版日本の野鳥』（山と溪谷社 2014）



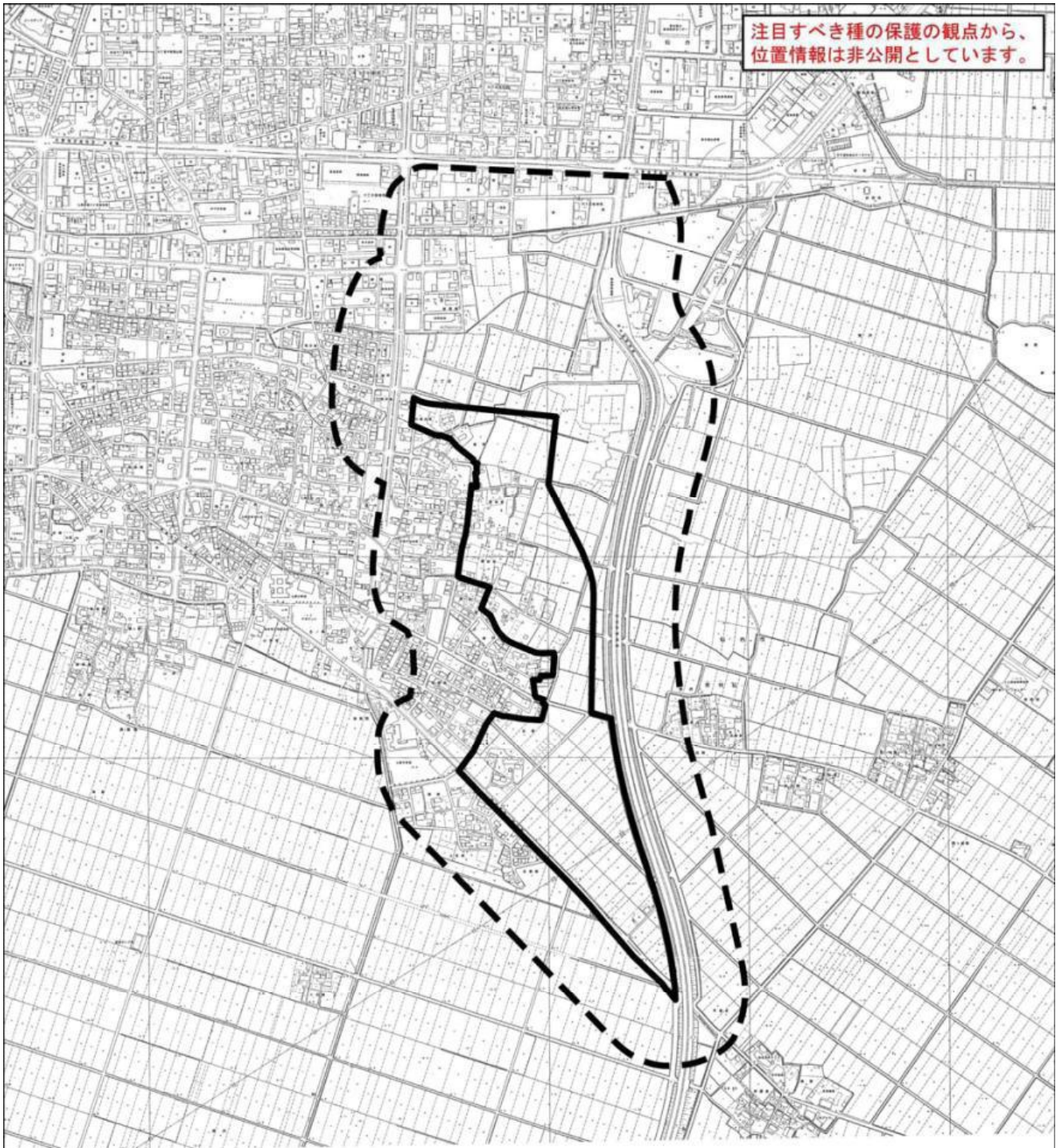
注目すべき種の保護の観点から、
位置情報は非公開としています。

凡 例

	事業区域		春季
	調査範囲		
	確認位置		







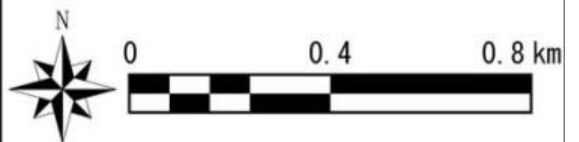
資料 2-6(1) 注目すべき種確認位置
(鳥類・春季)



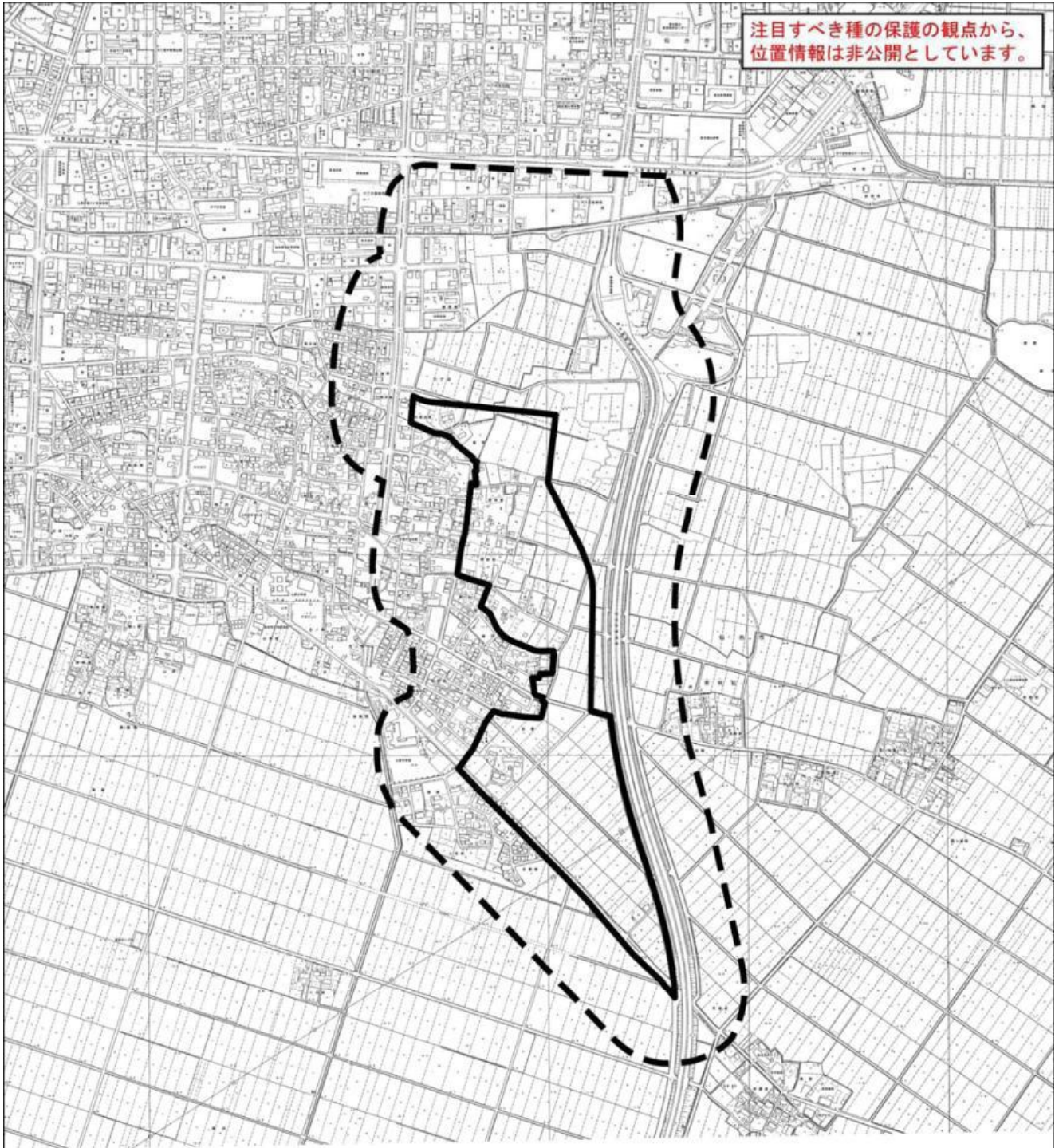
注目すべき種の保護の観点から、
位置情報は非公開としています。

凡 例

-  事業区域
-  調査範囲
-  確認位置
-  夏季







資料 2-6(2) 注目すべき種確認位置
(鳥類・夏季)



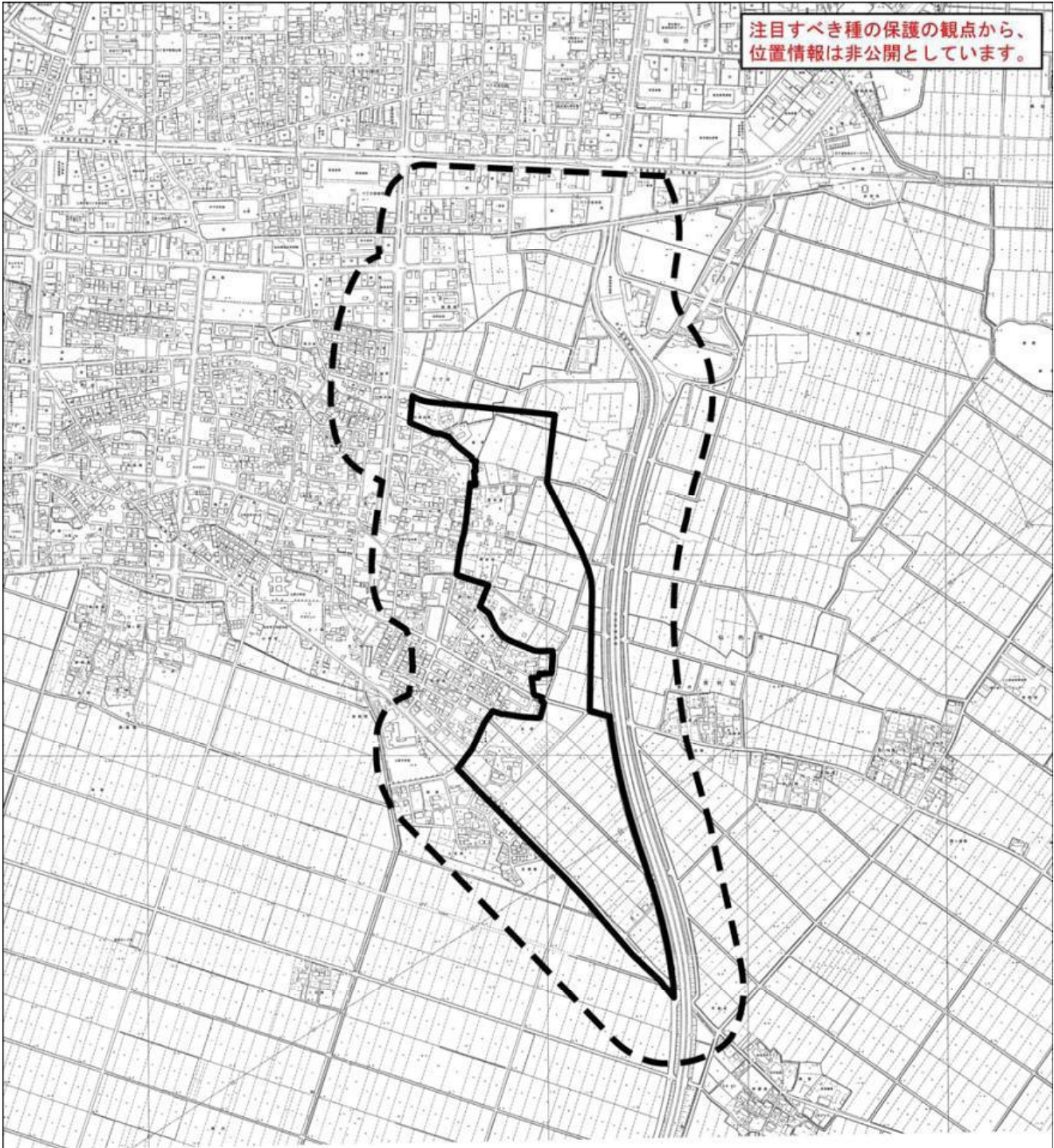
注目すべき種の保護の観点から、
位置情報は非公開としています。

凡 例

-  事業区域
-  調査範囲
-  確認位置
-  秋季







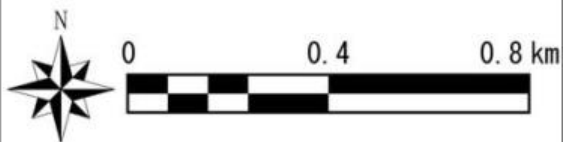
資料 2-6(3) 注目すべき種確認位置
(鳥類・秋季)



注目すべき種の保護の観点から、
位置情報は非公開としています。

凡 例

-  事業区域
-  調査範囲
-  確認位置
-  冬季



資料 2-6(4) 注目すべき種確認位置
(鳥類・冬季)

【両生類(現地調査結果)】

資料 2-7 注目すべき種 (両生類) 一覧

種名	選定基準																		
	I	II	III	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI				XII					
										学術上重要種	減少種		環境指標種	ふれあい種	学術上重要種	減少種		環境指標種	ふれあい種
											市街地	田園				市街地	東部田園		
ニホンアカガエル						NT					B			○		B	*		
1科	1種	0種	0種	0種	0種	1種	1種	0種	0種	0種	1種	0種	0種	1種	0種	1種	1種	0種	0種

※黄色で着色した種は、選定基準 I～X に該当する種、または選定基準 XI、XII の「学術上重要な植物種」及び「減少種」の中でも特に希とされる A ランク」に該当する種である。確認状況、一般生態、確認位置は本編参照。

※選定基準は資料 2-1 に示す。

【昆虫類(現地調査結果)】

資料 2-8 注目すべき種 (昆虫類) 一覧

種名	選 定 基 準																			
	I	II	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI				XII						
										学術上重要な種	減少種		ふれあい種	学術上重要な種	減少種		環境指標種	ふれあい種		
										市街地	田園	環境指標種		学術上重要な種	市街地	東部田園	環境指標種	ふれあい種		
コシアキトンボ											C									
マユタテアカネ																C		●	○	
アキアカネ																C		●	○	
ノシメトンボ																C		●	○	
ヒメオオメナガカメムシ						NT														
キンナガゴミムシ						NT														
ヨツモンコミズギワゴミムシ						DD														
コガムシ						DD														
8種	0種	0種	0種	0種	1種	3種	0種	0種	0種	0種	1種	0種	0種	0種	0種	0種	3種	3種	3種	

※黄色で着色した種は、選定基準 I～X に該当する種、または選定基準 XI、XII の「学術上重要な植物種」及び「減少種の中でも特に希とされる A ランク」に該当する種である。確認状況、一般生態、確認位置は本編参照。

※選定基準は表 2-1 に示す。

資料2-9(1) 注目すべき種(昆虫類)の確認状況及び一般生態(コシアキトンボ)

種名	コシアキトンボ	
確認状況	春季	確認せず
	夏季	1地点で確認
	秋季	確認せず
一般生態	腹長♂27～32mm、♀26～30mm。国内では本州、四国、九州および周辺の島々に分布する。東北地方の北部では産地が限られる。主に平地や丘陵地、低山地の樹林におおわれたやや鬱閉的な植物性沈積物の多い泥底池沼などに生息する。	

*出典：『原色日本トンボ幼虫、成虫大図鑑』（北海道大学図書刊行会 1999）

資料2-9(2) 注目すべき種(昆虫類)の確認状況及び一般生態(マユタテアカネ)

種名	マユタテアカネ	
確認状況	春季	確認せず
	夏季	水田地帯の広範囲で確認
	秋季	水田地帯の広範囲で確認
一般生態	腹長20～28mmで♂♀ほぼ同大。北海道、本州、四国、九州に分布し、利尻島、粟島、佐渡島等の島々にも産する。主に平地から低山地の挺水植物がおい茂る池沼や湿地、湿原、水田、溝川等かなり広範な止水域に生息するほか、植生の豊かなゆるやかな流れにもしばしば多産する。	

*出典：『原色日本トンボ幼虫、成虫大図鑑』（北海道大学図書刊行会 1999）

資料2-9(3) 注目すべき種(昆虫類)の確認状況及び一般生態(アキアカネ)

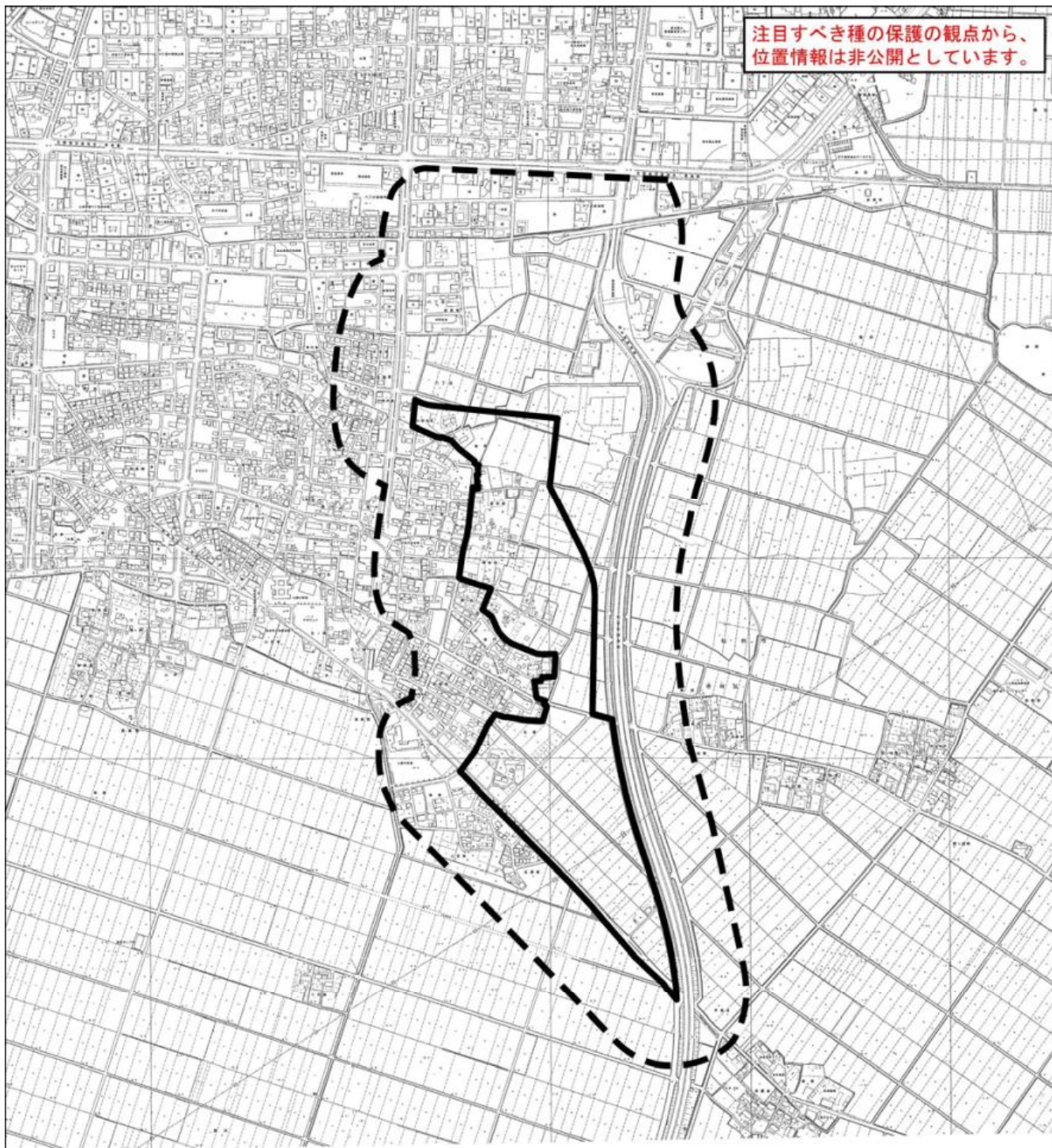
種名	アキアカネ	
確認状況	春季	確認せず
	夏季	水田地帯の広範囲で確認
	秋季	水田地帯の広範囲で確認
一般生態	腹長♂23～29mm、♀21～30mm。日本特産種。北海道、本州、四国、九州に分布し、南千島の国後島、飛島、粟島等の島々にも産する。主に平地から低山地の挺水植物がおい茂る池沼や湿地、湿原、水田、溝等に生息する。	

*出典：『原色日本トンボ幼虫、成虫大図鑑』（北海道大学図書刊行会 1999）

資料2-9(4) 注目すべき種(昆虫類)の確認状況及び一般生態(ノシメトンボ)

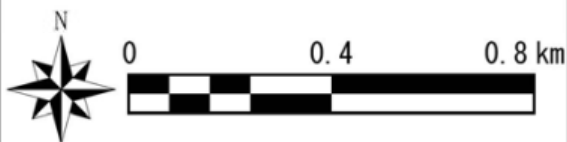
種名	ノシメトンボ	
確認状況	春季	確認せず
	夏季	水田地帯の広範囲で確認
	秋季	水田地帯の広範囲で確認
一般生態	腹長25～32mm、♂♀ほぼ同大。北海道、本州、四国、九州に分布し、南千島の国後島、飛島、粟島等の島々にも産する。主に平地から低山地の水ぎわに植物が繁茂する水深の浅い開放的な池沼や水田、溝川等に生息する。	

*出典：『原色日本トンボ幼虫、成虫大図鑑』（北海道大学図書刊行会 1999）



凡 例

-  事業区域
-  調査範囲
-  確認位置 (夏季)
-  確認位置 (秋季)



資料 2-10 注目すべき種確認位置
(昆虫類)

【魚類(現地調査結果)】

資料 2-11 注目すべき種(魚類) 一覧

種名	選 定 基 準										XI				XII				
	I	II	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	学術上重要な種	減少種		環境指標種	ふれあい種	学術上重要な種	減少種		環境指標種	ふれあい種
											市街地	田園				市街地	東部田園		
ニホンウナギ			DD	EN	EN		NT	NT			B	B		○	1	B	B	○	
ウグイ											C		○	○		B	C	○	○
ドジョウ				DD	DD														
アユ											C	C	○	○		C	C	○	○
4種	0種	0種	1種	2種	2種	0種	1種	1種	0種	0種	3種	3種	3種	3種	1種	3種	3種	3種	2種

※黄色で着色した種は、選定基準 I～X に該当する種、または選定基準 XI、XII の「学術上重要な植物種」及び「減少種」の中でも特に希とされる A ランク」に該当する種である。確認状況、一般生態、確認位置は本編参照。
 ※選定基準は表 2-1 に示す。

資料 2-12 注目すべき種(魚類)の確認状況及び一般生態(ウグイ)

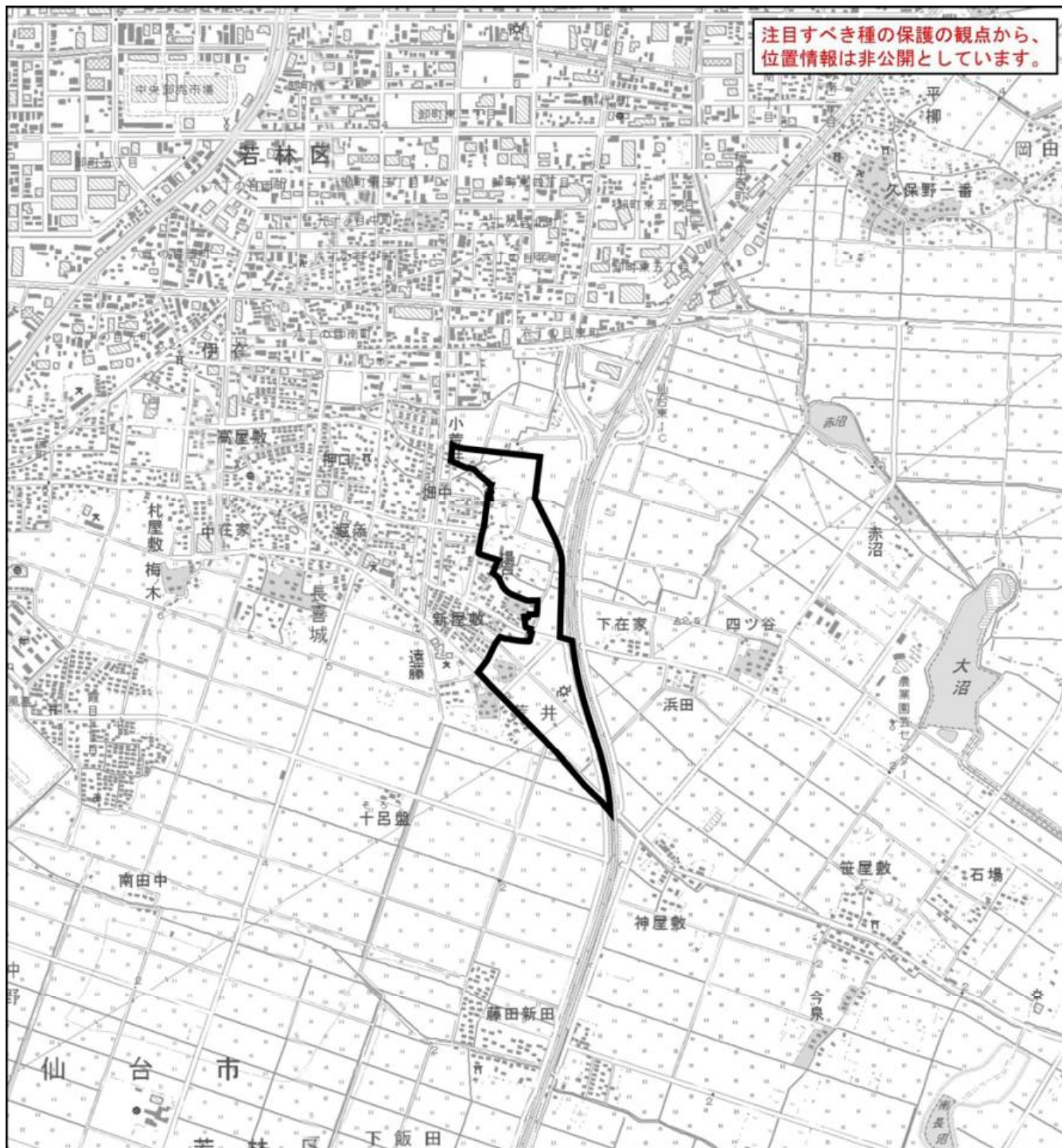
種名	ウグイ	
確認状況	春季	事業区域外1地点(st. 3)で19個体を確認
	夏季	事業区域外2地点(st. 1、st. 3)で3個体を確認
	秋季	事業区域外1地点(st. 3)で3個体を確認
	冬季	事業区域外1地点(st. 1、st. 3)で9個体を確認
一般生態	全長45cm、四国の瀬戸内海側の一部や琉球列島を除くほぼ日本全国に分布する。産卵期には背側・側線・腹側に沿って3本の赤色縦条が現れる。淡水型と降海型とがあり、淡水型は河川の上流域から河口域、山あいの湖沼などに広く分布する。降海型は汽水域から内湾、外海の沿岸部までに見られる。河川では主に淵にすむが、群れで平瀬に出て、付着藻類や水生昆虫を食べる事も多い。産卵期は春から夏で、河川の瀬に産卵する。	

*出典:『山溪カラー名鑑 改訂版 日本の淡水魚』(川那部浩哉・水野信彦(編) 山と溪谷社 2001)
 『川と湖の魚①』(川那部浩哉・水野信彦(著) 保育社 1989)

資料 2-13 注目すべき種(魚類)の確認状況及び一般生態(アユ)

種名	アユ	
確認状況	春季	事業区域外1地点(st. 3)で2個体を確認
	夏季	事業区域外1地点(st. 3)で10個体を確認
一般生態	全長10～30cm、北海道西部以南の日本各地に分布する。体色は背側が青みがかったオリーブ色で腹側は銀灰色、特になわばりを持つ個体では胸鰭基部の後方に長円形の横斑があらわれる。春から秋にかけて、若魚期から成魚期を、主として川の中流域で生活するが、孵化した仔魚は秋に川を下り、翌春まで仔稚魚期を海で送る(両側回遊性)。仔魚は主に動物プランクトンを摂餌するが、遡上し中流域に定住すると主に付着藻類を摂餌する。産卵期は北方では8月下旬～9月、南方では10月下旬～12月。産卵場は中流域と下流域の境目にある砂礫底の瀬に形成される。	

*出典:『山溪カラー名鑑 改訂版 日本の淡水魚』(川那部浩哉・水野信彦(編) 山と溪谷社 2001)

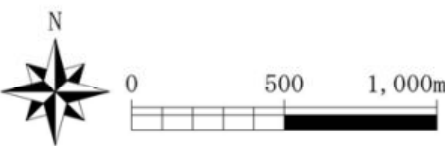


注目すべき種の保護の観点から、
位置情報は非公開としています。

凡 例

 事業区域
 確認位置

N



0 500 1,000m

資料 2-14 注目すべき種確認位置
(魚類)

【底生動物(現地調査結果)】

資料 2-15 注目すべき種 (底生動物) 一覧

種名	選 定 基 準																			
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI				XII					
											学術上重要な種	減少種		環境指標種	ふれあい種	学術上重要な種	減少種		環境指標種	ふれあい種
市街地	田園	市街地	東部田園																	
マルタニシ				NT	VU	VU		DD												
オオタニシ				NT	NT	NT		DD												
ミヤマサナエ							NT													
3種	0種	0種	0種	2種	2種	2種	1種	2種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種

※黄色で着色した種は、選定基準 I～X に該当する種、または選定基準 XI、XII の「学術上重要な植物種」及び「減少種の中でも特に希とされる A ランク」に該当する種である。確認状況、一般生態、確認位置は本編参照。

※選定基準は表 2-1 に示す。

写 真 票



No. 植-1

写真標題
調査実施状況・春季

説明
植物相調査

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 植-2

写真標題
調査実施状況・夏季

説明
植物相調査

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-3

写真標題
調査実施状況・夏季

説明
植生調査

撮影日
平成 28 年 7 月 7 日



No. 植-4

写真標題
調査実施状況・秋季

説明
植物相調査

撮影日
平成 28 年 10 月 11 日



No. 植-5

写真標題
植物確認種
(注目すべき種)

説明
シロイヌナズナ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 植-6

写真標題
植物確認種
(注目すべき種)

説明
テリハノイバラ

撮影日
平成 28 年 7 月 7 日



No. 植-7

写真標題
植物確認種
(注目すべき種)

説明
ヤマザクラ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 植-8

写真標題
植物確認種
(注目すべき種)

説明
オオウシノケグサ

撮影日
平成 28 年 7 月 7 日



No. 植-9

写真標題
植物確認種
(注目すべき種)

説明
ミクリ

撮影日
平成 28 年 7 月 7 日



No. 植-10

写真標題
群落景觀写真

説明
クロマツ植林

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-11

写真標題
群落景觀写真

説明
セイタカアワダチソウ
群落

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-12

写真標題
群落景觀写真

説明
水生・湿性植物群落

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-13

写真標題
群落景觀写真

説明
畑地

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-14

写真標題
群落景觀写真

説明
水田

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-15

写真標題
群落景觀写真

説明
人工草地

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-16

写真標題
群落景觀写真

説明
植栽樹林群

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-17

写真標題
群落景觀写真

説明
公園・グラウンド

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-18

写真標題
群落景觀写真

説明
道路・人工構造物

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-19

写真標題
群落景觀写真

説明
開放水面

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-20

写真標題
植生調査地点

説明
クロマツ植林

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-21

写真標題
植生調査地点

説明
セイタカアワダチソウ
群落

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-22

写真標題
植生調査地点

説明
クサヨシ群落

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日

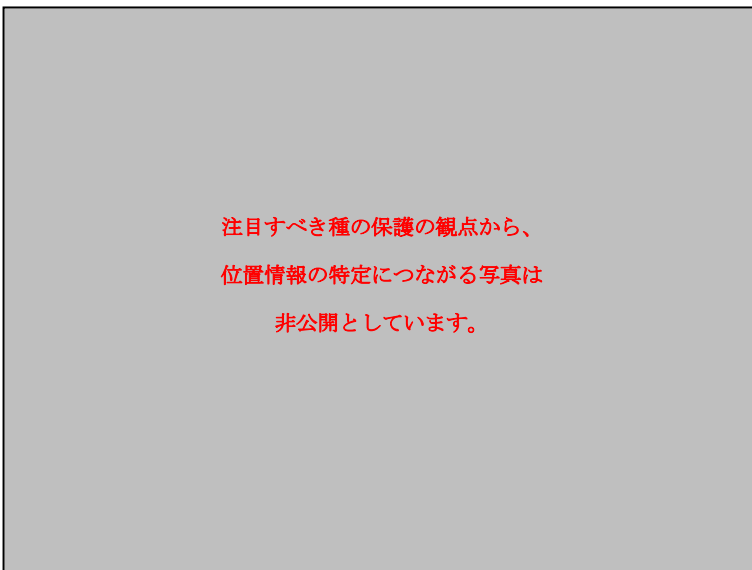


No. 植-23

写真標題
植生調査地点

説明
ヒメガマ群落

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-24

写真標題
植生調査地点

説明
ミクリ群落

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-25

写真標題
植生調査地点

説明
マコモ群落

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-26

写真標題
植生調査地点

説明
畑地雑草群落

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-27

写真標題
植生調査地点

説明
水田雑草群落

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



No. 植-28

写真標題
植生調査地点

説明
法面雑草群落

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日

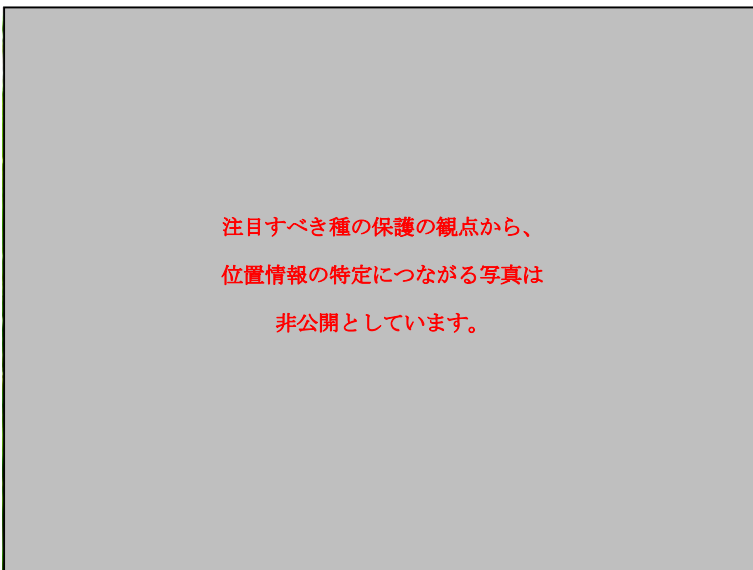


No. 植-29

写真標題
植生調査地点

説明
空地雑草群落

撮影日
平成 28 年 7 月 6 日



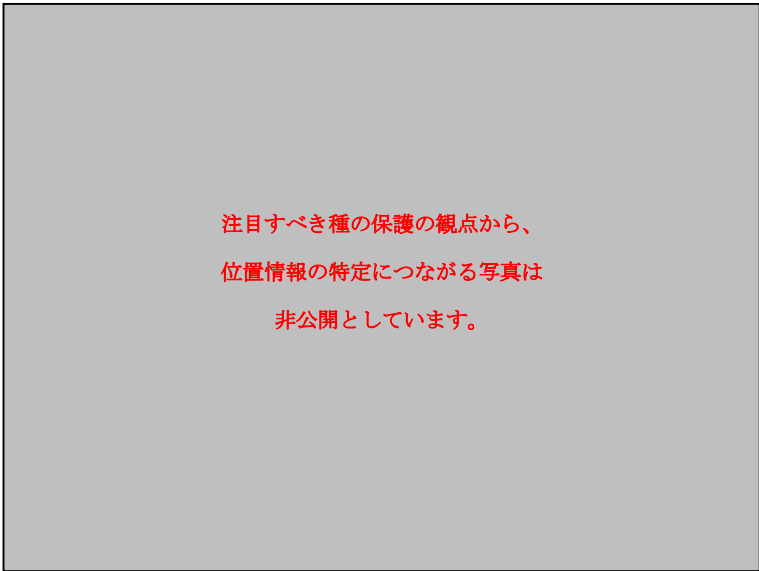
注目すべき種の保護の観点から、
位置情報の特定につながる写真は
非公開としています。

No. 植-30

写真標題
■の様子

説明
ミクリ

撮影日
平成 28 年 7 月 7 日

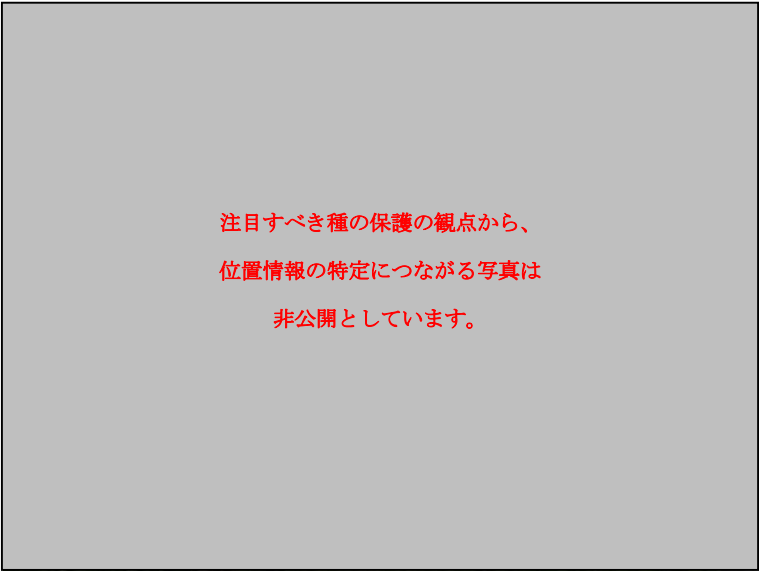


No. 植-31

写真標題
■の様子

説明
環境写真

撮影日
平成 28 年 7 月 7 日

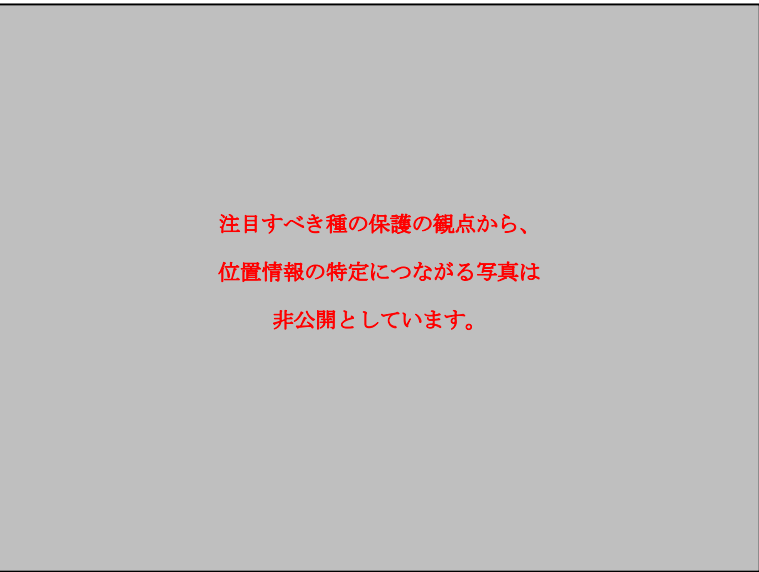


No. 植-32

写真標題
■の様子

説明
環境写真

撮影日
平成 28 年 7 月 7 日

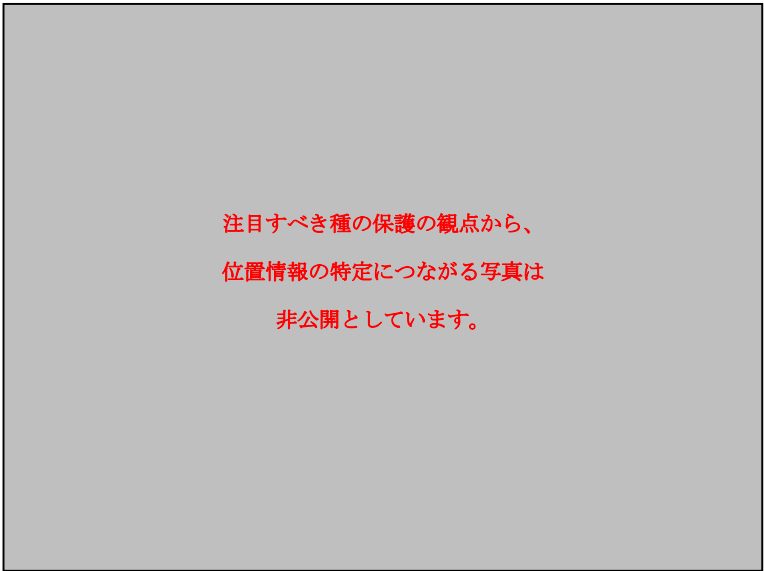


No. 植-33

写真標題
■の様子

説明
環境写真

撮影日
平成 28 年 7 月 7 日

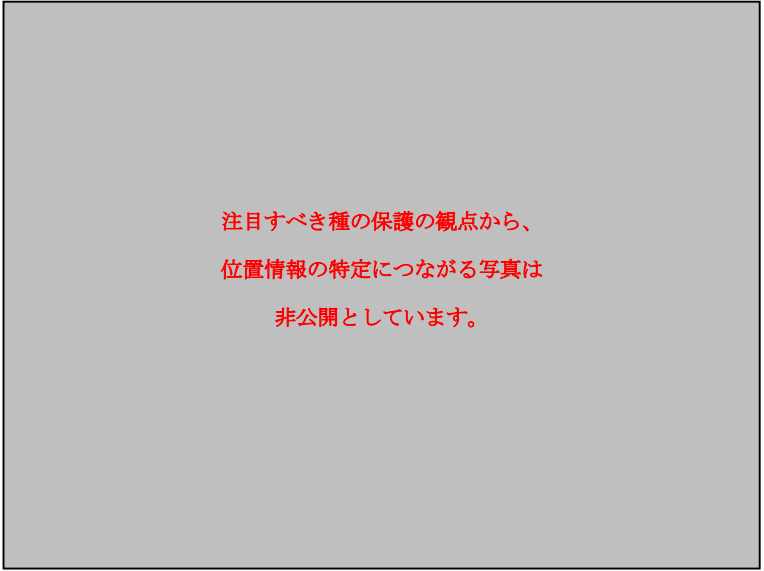


No. 植-34

写真標題
■の様子

説明
環境写真

撮影日
平成 28 年 7 月 7 日

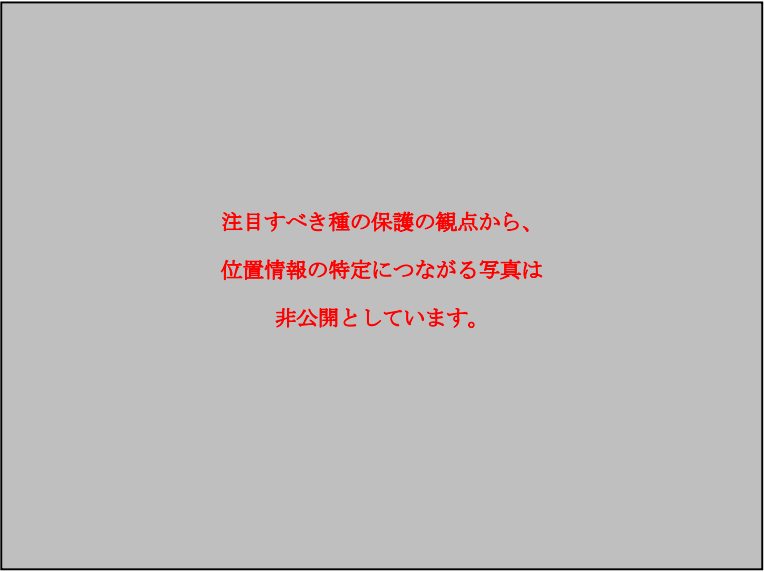


No. 植-35

写真標題
■の様子

説明
環境写真

撮影日
平成 28 年 7 月 7 日

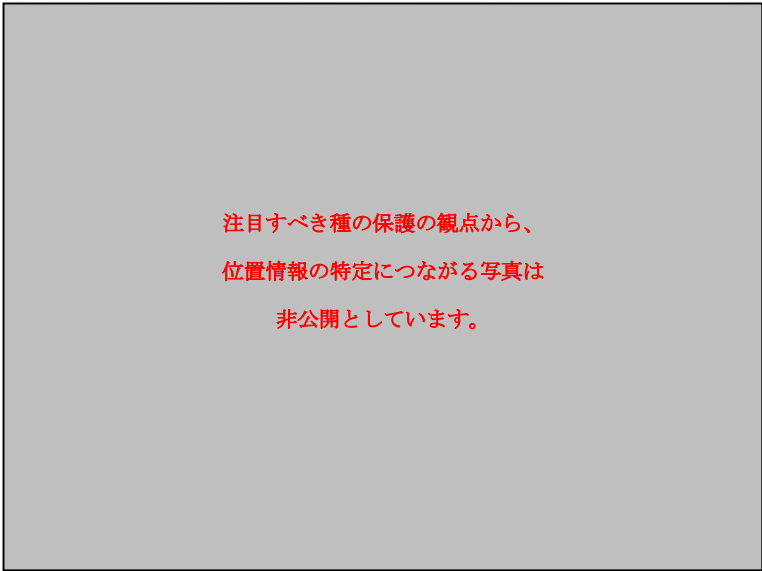


No. 植-36

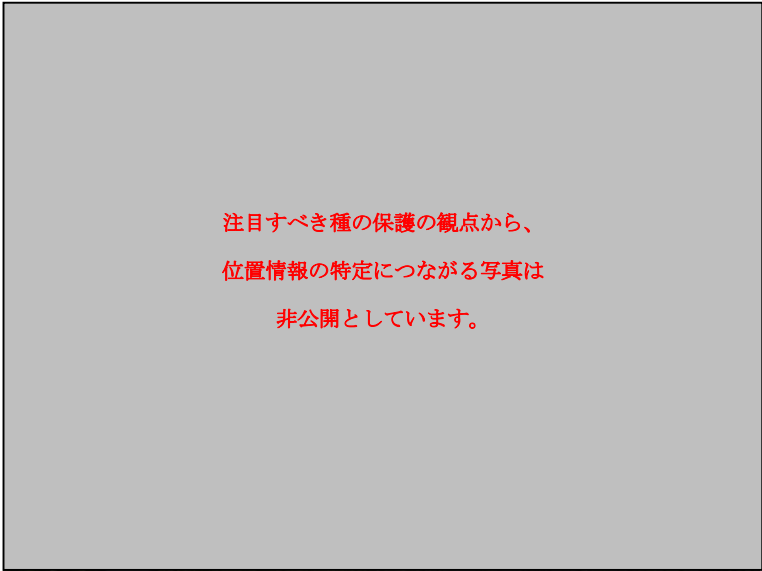
写真標題
■の様子

説明
環境写真

撮影日
平成 28 年 7 月 7 日



No. 植-37
写真標題 ■の様子
説明 環境写真
撮影日 平成 28 年 7 月 7 日



No. 植-38
写真標題 ■の様子
説明 環境写真
撮影日 平成 28 年 7 月 7 日



No. 鳥-1

写真標題
調査実施状況・春季

説明
ラインセンサス

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-2

写真標題
調査実施状況・夏季

説明
定点センサス

撮影日
平成 28 年 8 月 8 日



No. 鳥-3

写真標題
調査実施状況・秋季

説明
ラインセンサス

撮影日
平成 28 年 10 月 3 日



No. 鳥-4

写真標題
調査実施状況・冬季

説明
定点センサス

撮影日
平成 29 年 1 月 24 日



No. 鳥-5

写真標題
鳥類確認種
(注目すべき種)

説明
ゴイサギ

撮影日
平成 28 年 8 月 8 日



No. 鳥-6

写真標題
鳥類確認種
(注目すべき種)

説明
アオサギ

撮影日
平成 28 年 10 月 3 日



No. 鳥-7

写真標題
鳥類確認種
(注目すべき種)

説明
ダイサギ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-8

写真標題
鳥類確認種
(注目すべき種)

説明
オオタカ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-9

写真標題
鳥類確認種
(注目すべき種)

説明
ノスリ

撮影日
平成 28 年 10 月 3 日



No. 鳥-10

写真標題
鳥類確認種
(注目すべき種)

説明
チョウゲンボウ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-11

写真標題
鳥類確認種
(注目すべき種)

説明
セッカ

撮影日
平成 29 年 1 月 23 日



No. 鳥-12

写真標題
鳥類確認種
(注目すべき種)

説明
アオジ

撮影日
平成 29 年 1 月 20 日



No. 鳥-13

写真標題
鳥類確認種

説明
カルガモ

撮影日
平成 28 年 8 月 8 日



No. 鳥-14

写真標題
鳥類確認種

説明
コガモ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-15

写真標題
鳥類確認種

説明
キジバト

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-16

写真標題
鳥類確認種

説明
バン

撮影日
平成 28 年 8 月 8 日



No. 鳥-17

写真標題
鳥類確認種

説明
コチドリ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-18

写真標題
鳥類確認種

説明
チュウシャクシギ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-19

写真標題
鳥類確認種

説明
ウミネコ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-20

写真標題
鳥類確認種

説明
トビ

撮影日
平成 28 年 10 月 3 日



No. 鳥-21

写真標題
鳥類確認種

説明
モズ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-22

写真標題
鳥類確認種

説明
ミヤマガラス

撮影日
平成 29 年 1 月 23 日



No. 鳥-23

写真標題
鳥類確認種

説明
ハシボソガラス

撮影日
平成 28 年 10 月 3 日



No. 鳥-24

写真標題
鳥類確認種

説明
ハシブトガラス

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-25

写真標題
鳥類確認種

説明
ヒバリ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-26

写真標題
鳥類確認種

説明
ツバメ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-27

写真標題
鳥類確認種

説明
ヒヨドリ

撮影日
平成 29 年 1 月 19 日



No. 鳥-28

写真標題
鳥類確認種

説明
ムクドリ

撮影日
平成 29 年 1 月 19 日



No. 鳥-29

写真標題
鳥類確認種

説明
コムクドリ

撮影日
平成 28 年 8 月 8 日



No. 鳥-30

写真標題
鳥類確認種

説明
ツグミ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-31

写真標題
鳥類確認種

説明
スズメ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-32

写真標題
鳥類確認種

説明
ハクセキレイ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 鳥-33

写真標題
鳥類確認種

説明
カワラヒワ

撮影日
平成 28 年 5 月 7 日



No. 両-1

写真標題
調査実施状況・春季

説明
直接観察法

撮影日
平成 28 年 5 月 19 日



No. 両-2

写真標題
調査実施状況・夏季

説明
直接観察法

撮影日
平成 28 年 8 月 8 日



No. 両-3

写真標題
調査実施状況・秋季

説明
直接観察法

撮影日
平成 28 年 10 月 3 日

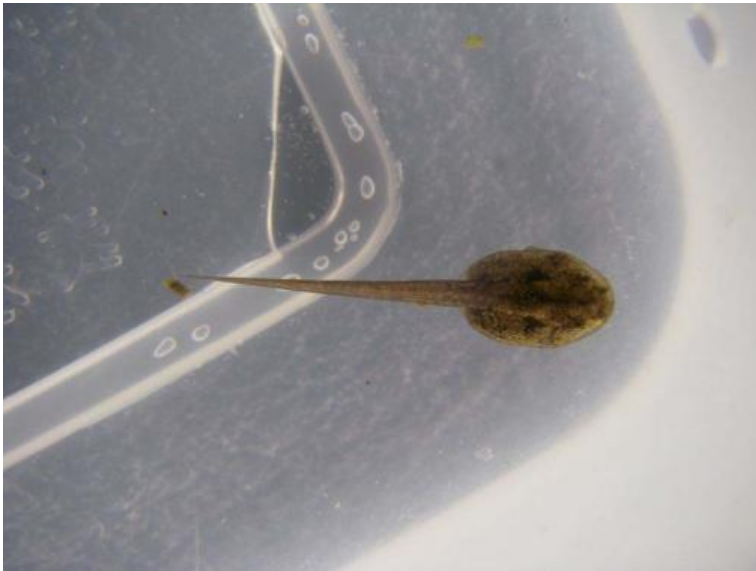


No. 両-4

写真標題
両生類確認種
(注目すべき種)

説明
ニホンアカガエル
(卵塊)

撮影日
平成 28 年 5 月 19 日



No. 両-5

写真標題
両生類確認種
(注目すべき種)

説明
ニホンアカガエル
(幼生)

撮影日
平成 28 年 5 月 19 日



No. 両-6

写真標題
両生類確認種
(注目すべき種)

説明
ニホンアカガエル
(幼体)

撮影日
平成 28 年 8 月 8 日



No. 両-7

写真標題
両生類確認種
(注目すべき種)

説明
ニホンアカガエル
(成体)

撮影日
平成 28 年 10 月 3 日



No. 両-8

写真標題
両生類確認種

説明
ニホンアマガエル
(幼体)

撮影日
平成 28 年 8 月 8 日



No. 両-9

写真標題
両生類確認種

説明
ニホンアマガエル
(成体)

撮影日
平成 28 年 10 月 3 日



No. 両-10

写真標題
両生類確認種

説明
ウシガエル
(幼体)

撮影日
平成 28 年 10 月 3 日



No. 昆-1

写真標題
調査実施状況・春季

説明
任意調査法

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 昆-2

写真標題
調査実施状況・夏季

説明
任意調査法

撮影日
平成 28 年 7 月 11 日

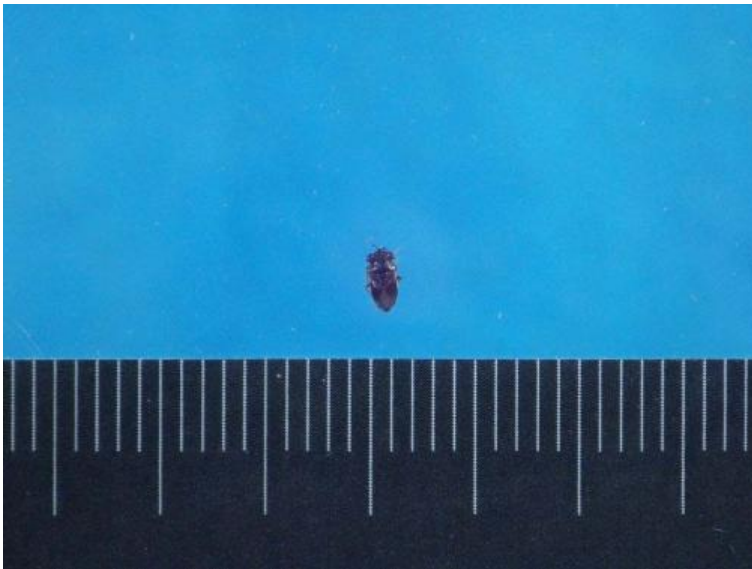


No. 昆-3

写真標題
調査実施状況・秋季

説明
任意調査法

撮影日
平成 28 年 10 月 3 日



No. 昆-4

写真標題
昆虫確認種
(注目すべき種)

説明
ヒメオオメナガカメムシ

撮影日
平成 28 年 10 月 3 日

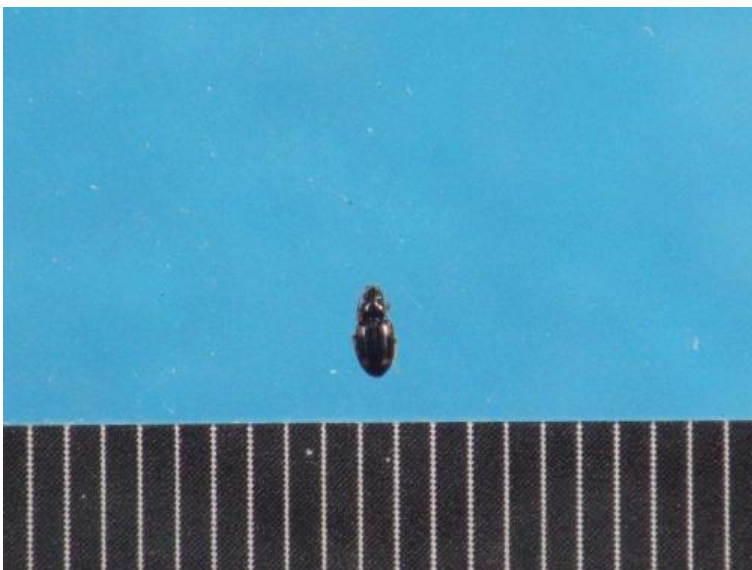


No. 昆-5

写真標題
昆虫確認種
(注目すべき種)

説明
キンナガゴミムシ

撮影日
平成 28 年 7 月 11 日



No. 昆-6

写真標題
昆虫確認種
(注目すべき種)

説明
ヨツモンコミズギワゴ
ミムシ

撮影日
平成 28 年 10 月 3 日

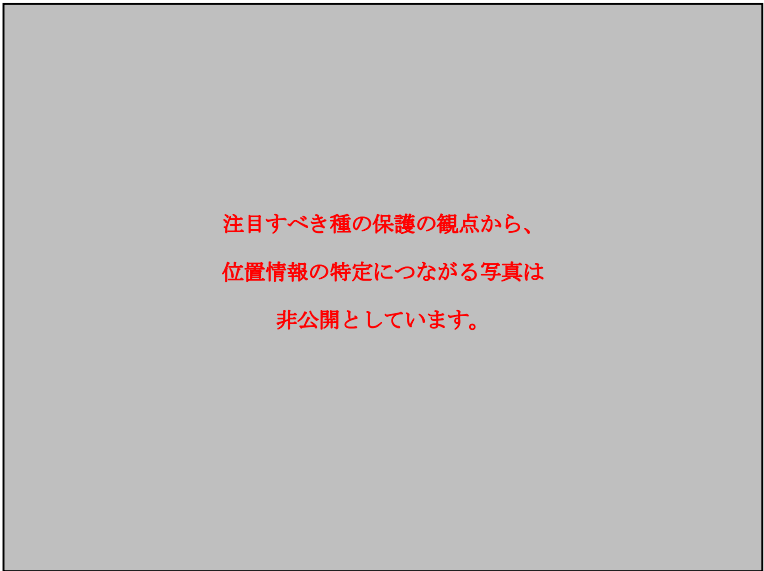


No. 昆-7

写真標題
昆虫確認種
(注目すべき種)

説明
コガムシ

撮影日
平成 28 年 7 月 11 日

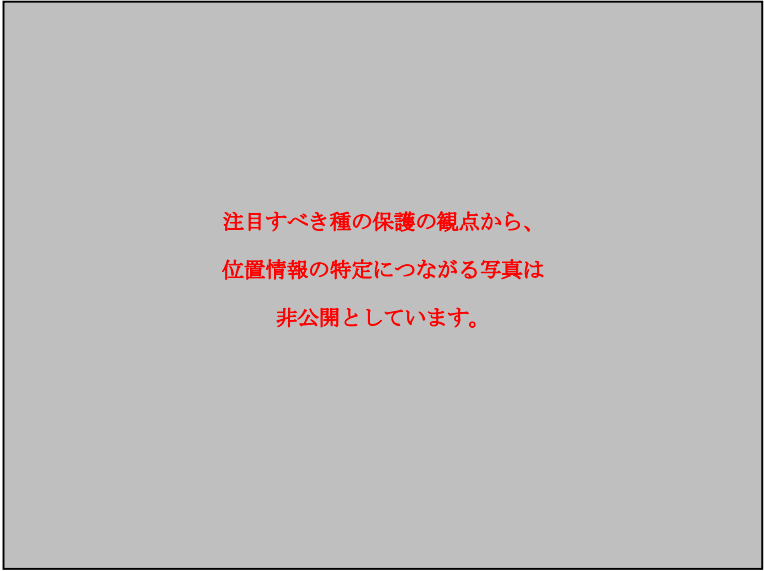


No. 魚・底-1

写真標題
調査実施状況・春季

説明
魚類調査
投網による捕獲

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日

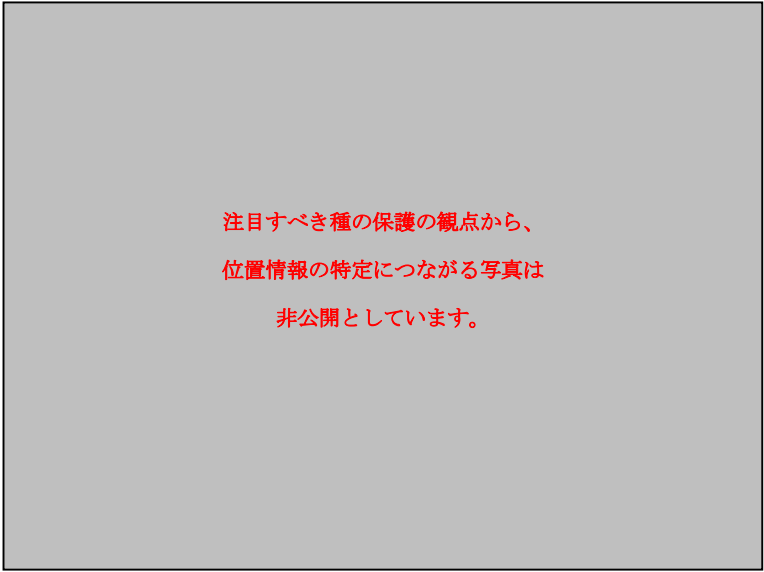


No. 魚・底-2

写真標題
調査実施状況・春季

説明
魚類調査
タモ網による捕獲

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日

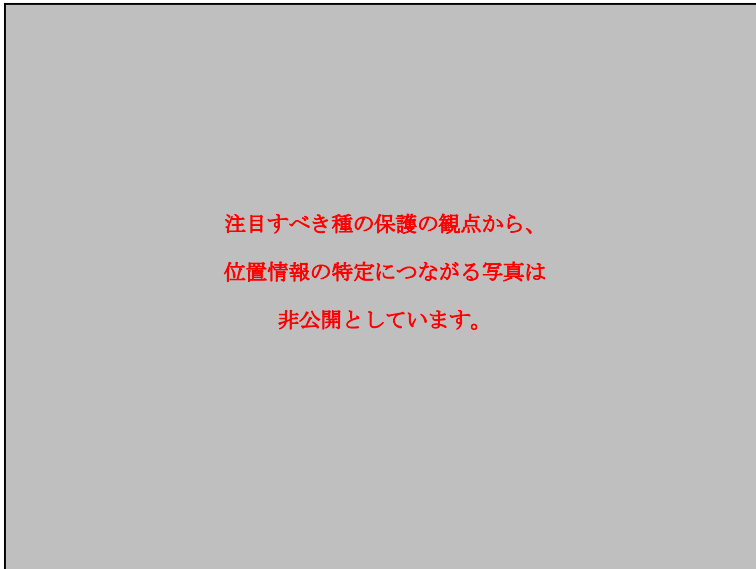


No. 魚・底-3

写真標題
調査実施状況・春季

説明
魚類調査
サデ網による捕獲

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日

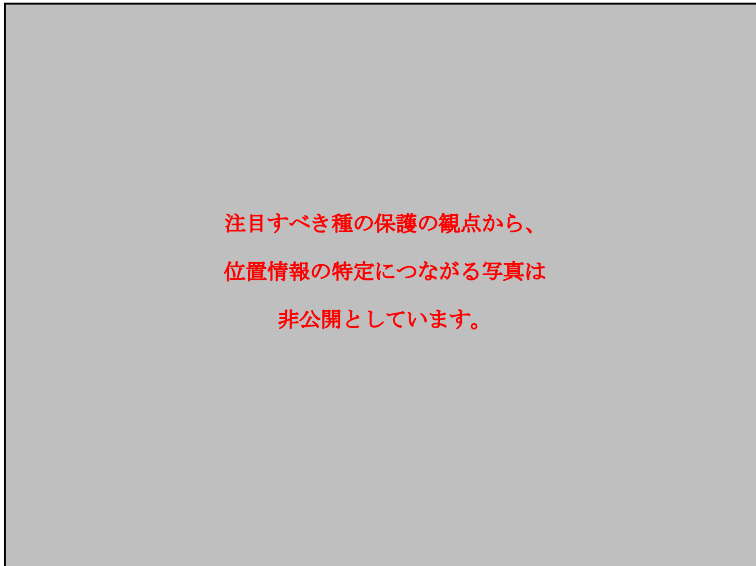


No. 魚・底-4

写真標題
調査実施状況・春季

説明
魚類調査
セルびんの回収

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-5

写真標題
調査実施状況・春季

説明
底生動物調査
タモ網による定性採集

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日

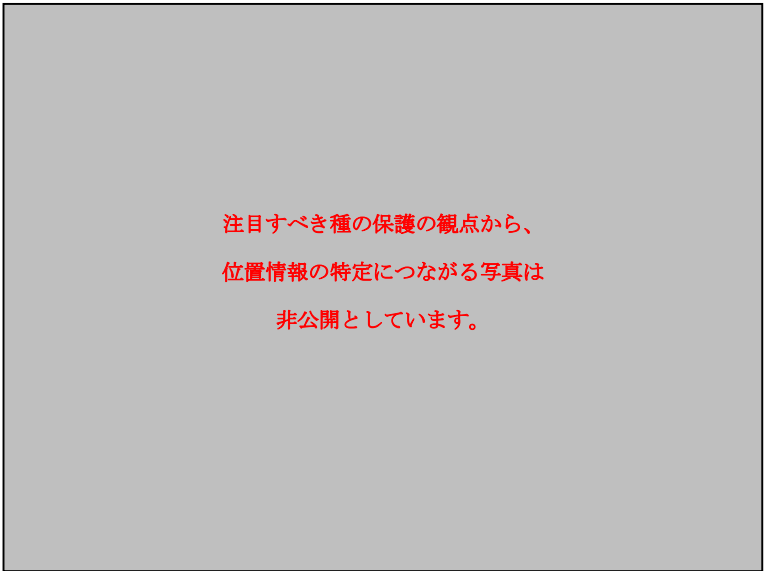


No. 魚・底-6

写真標題
調査実施状況・春季

説明
特別採捕許可旗の掲示

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日

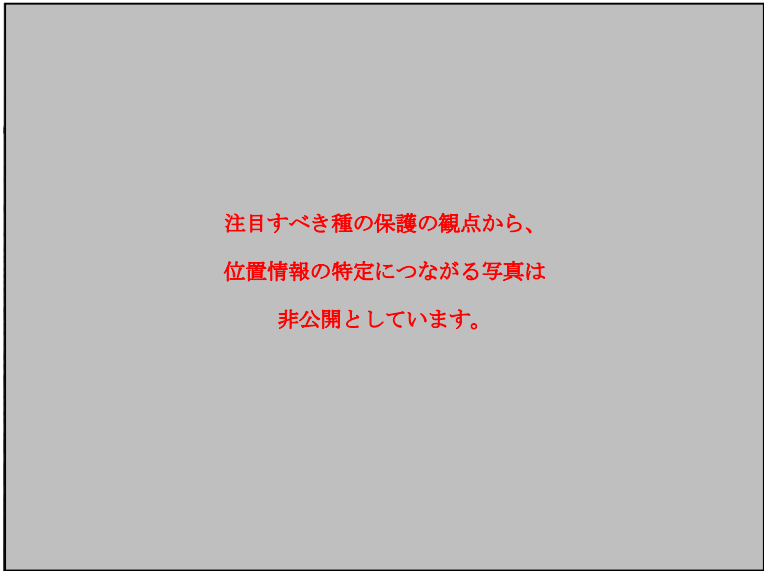


No. 魚・底-7

写真標題
調査地点景観・春季

説明
St. 1(1)

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日

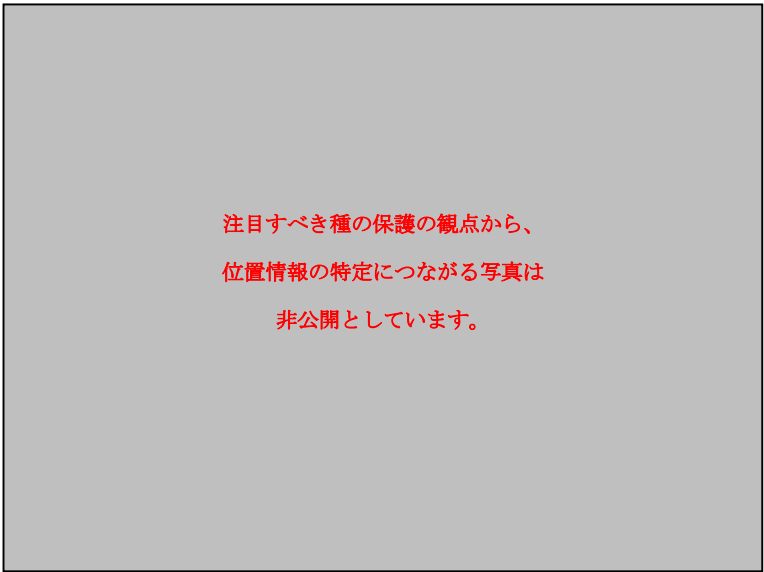


No. 魚・底-8

写真標題
調査地点景観・春季

説明
St. 1(2)

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日

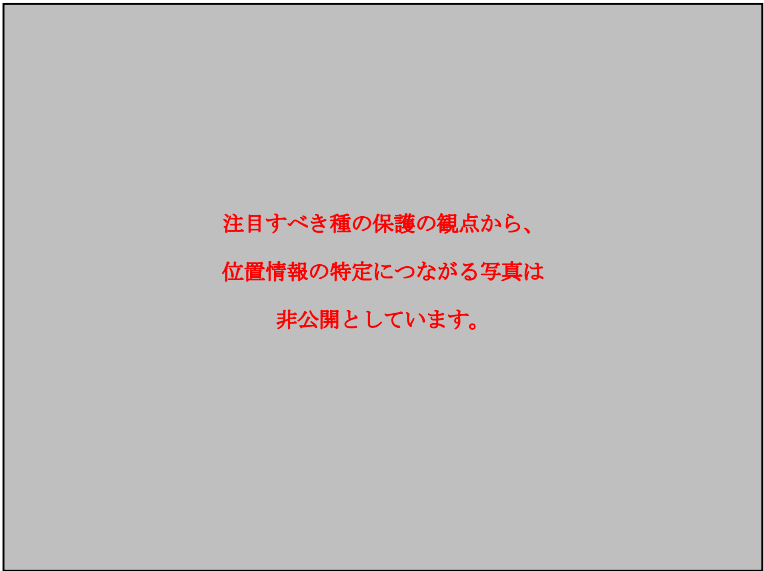


No. 魚・底-9

写真標題
調査地点景観・春季

説明
St. 2(1)

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日

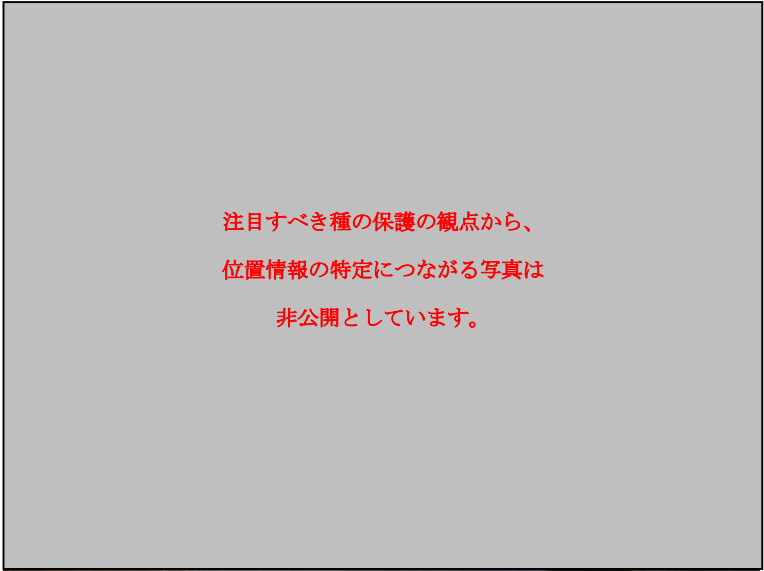


No. 魚・底-10

写真標題
調査地点景観・春季

説明
St. 2(2)

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日

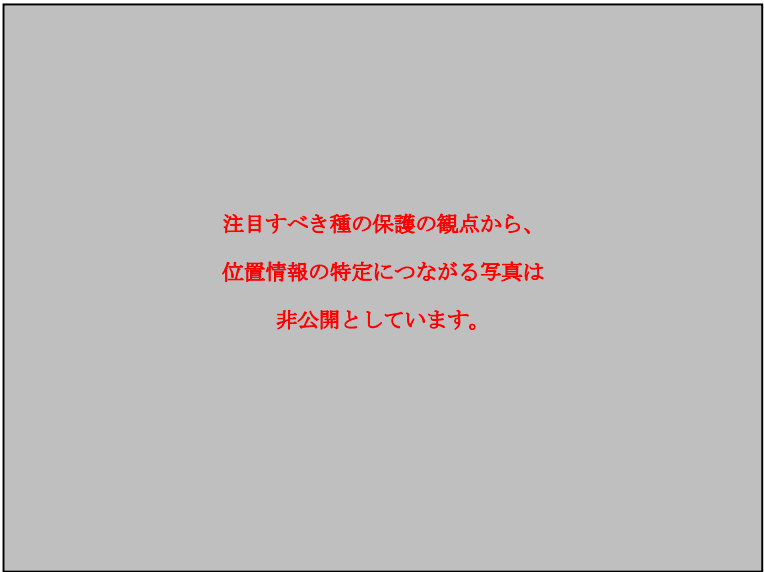


No. 魚・底-11

写真標題
調査地点景観・春季

説明
St. 3(1)

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-12

写真標題
調査地点景観・春季

説明
St. 3(2)

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-13

写真標題
魚類確認種・春季

説明
ゲンゴロウブナ

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-14

写真標題
魚類確認種・春季

説明
オイカワ

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-15

写真標題
魚類確認種・春季

説明
マルタ

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-16

写真標題
魚類確認種・春季

説明
ウグイ

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-17

写真標題
魚類確認種・春季

説明
タモロコ

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-18

写真標題
魚類確認種・春季

説明
ニゴイ

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-19

写真標題
魚類確認種・春季
(注目すべき種)

説明
ドジョウ

撮影日
平成 28 年 5 月 24 日



No. 魚・底-20

写真標題
魚類確認種・春季

説明
アユ

撮影日
平成 28 年 5 月 24 日



No. 魚・底-21

写真標題
魚類確認種・春季

説明
サケ

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-22

写真標題
魚類確認種・春季

説明
ボラ

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-23

写真標題
魚類確認種・春季

説明
マハゼ

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-24

写真標題
魚類確認種・春季

説明
アシシロハゼ

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-25

写真標題
魚類確認種・春季

説明
ヨシノボリ属

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日



No. 魚・底-26

写真標題
底生動物確認種・春季

説明
タガイ

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日

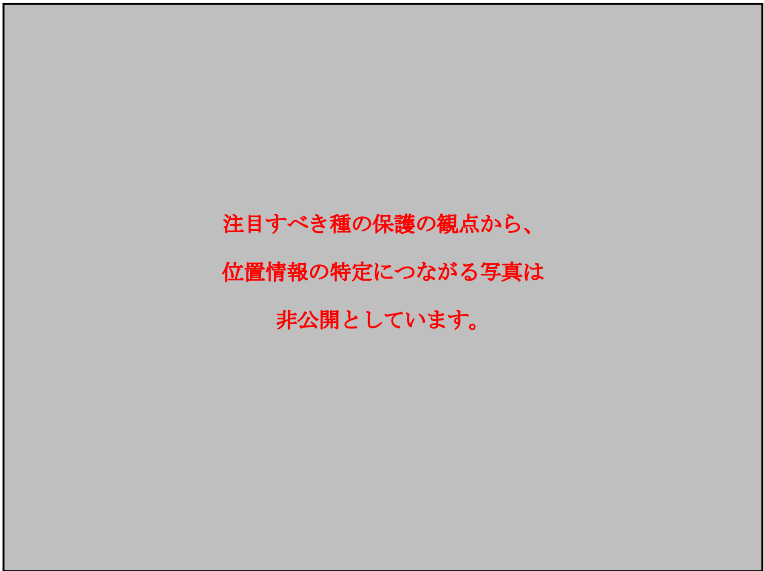


No. 魚・底-27

写真標題
底生動物確認種・春季
(注目すべき種)

説明
ミヤマサナエ

撮影日
平成 28 年 5 月 6 日

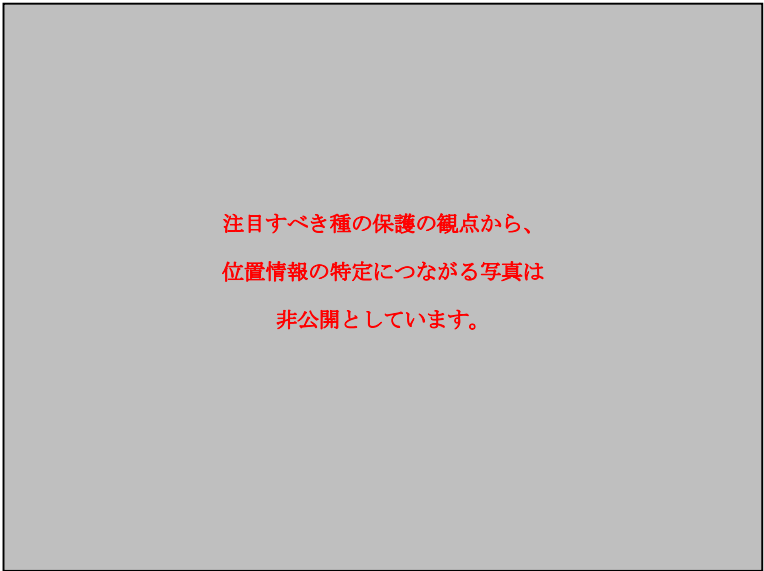


No. 魚・底-28

写真標題
調査実施状況・夏季

説明
魚類調査
投網による捕獲

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日

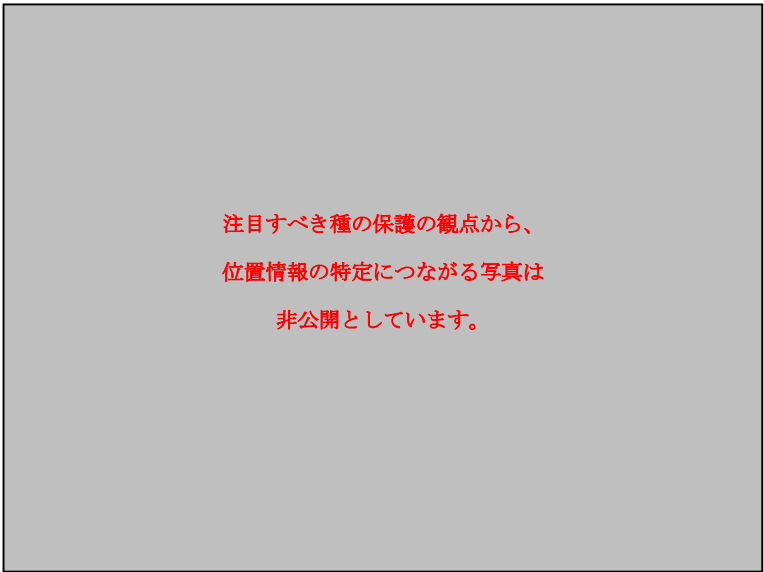


No. 魚・底-29

写真標題
調査実施状況・夏季

説明
魚類調査
タモ網による捕獲

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日

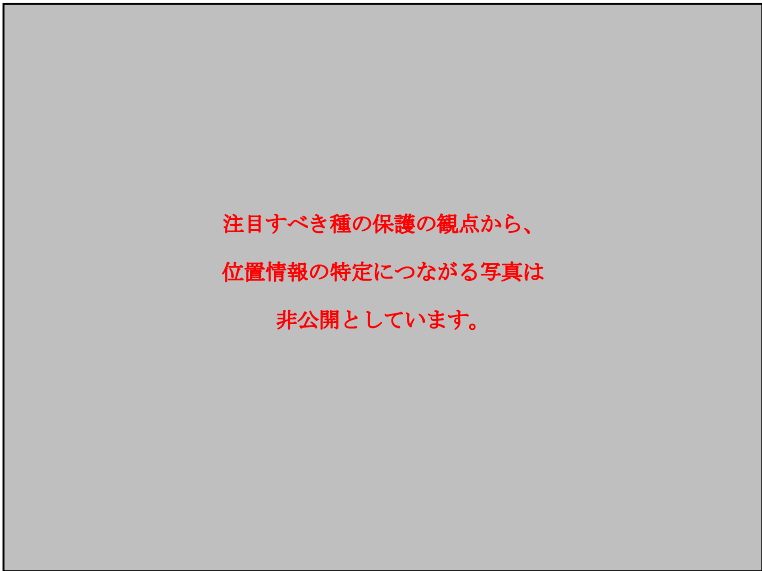


No. 魚・底-30

写真標題
調査実施状況・夏季

説明
魚類調査
サデ網による捕獲

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日

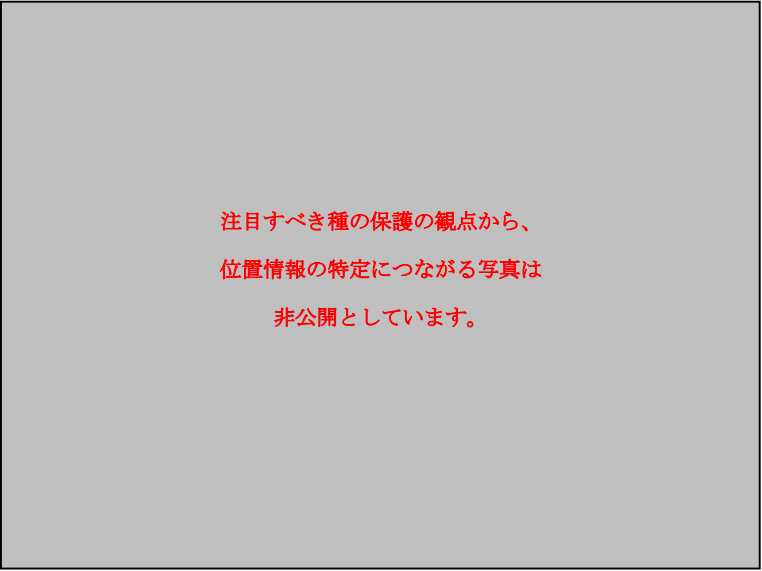


No. 魚・底-31

写真標題
調査実施状況・夏季

説明
魚類調査
セルびんの回収

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-32

写真標題
調査実施状況・夏季

説明
底生動物調査
タモ網による定性採集

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日

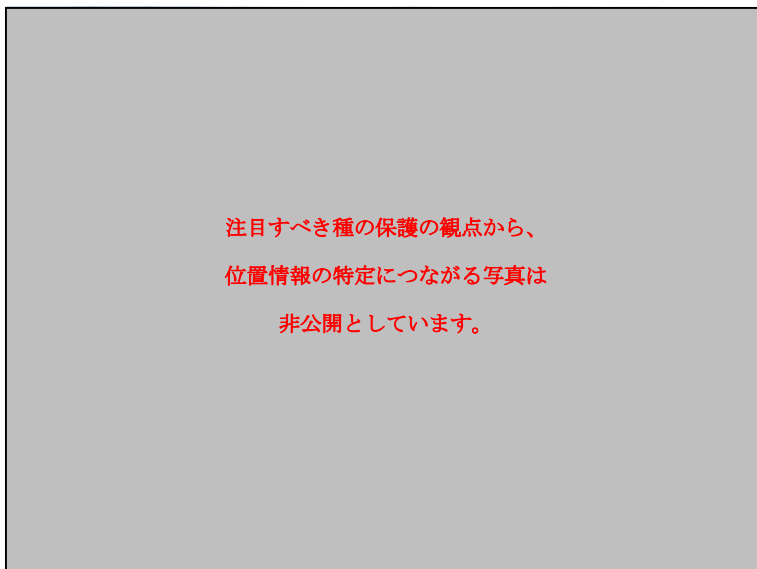


No. 魚・底-33

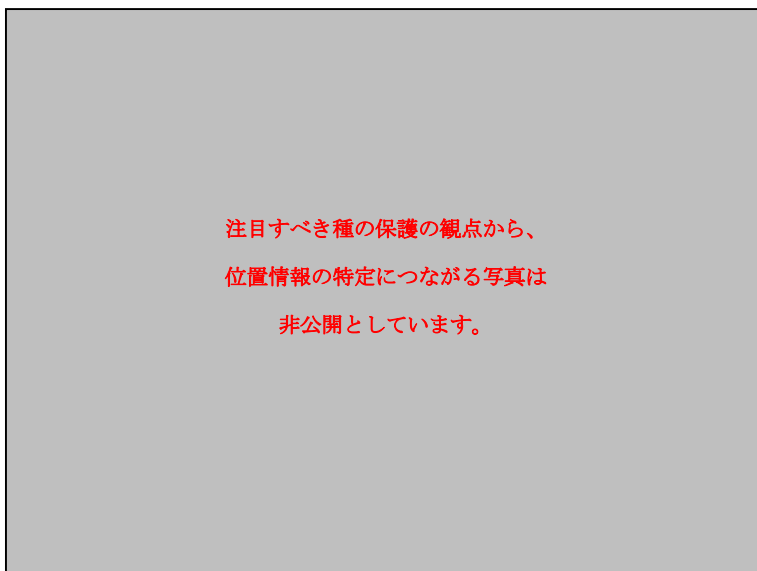
写真標題
調査実施状況・夏季

説明
特別採捕許可旗の掲示

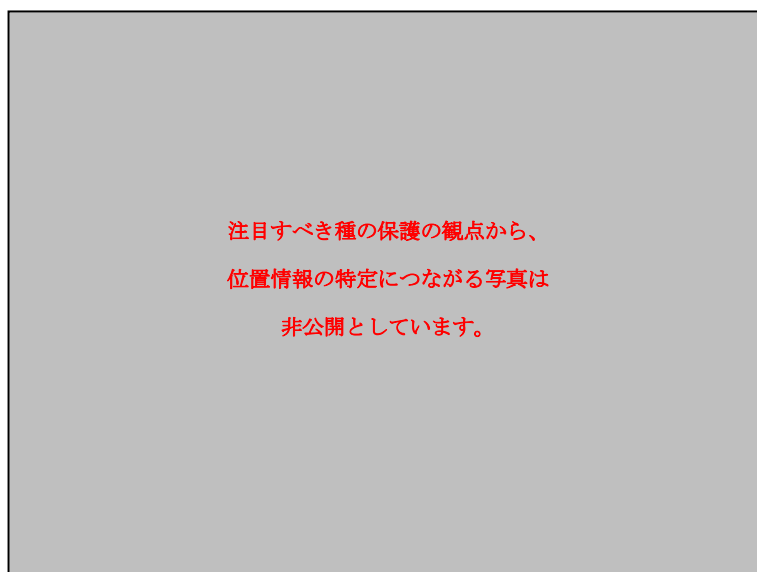
撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



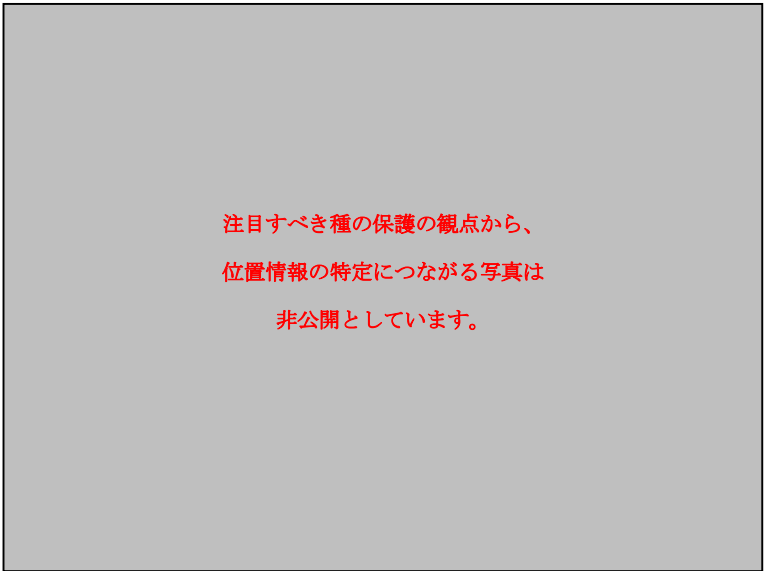
No. 魚・底-34
写真標題 調査地点景観・夏季
説明 St. 1(1)
撮影日 平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-35
写真標題 調査地点景観・夏季
説明 St. 1(2)
撮影日 平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-36
写真標題 調査地点景観・夏季
説明 St. 2(1)
撮影日 平成 28 年 8 月 9 日

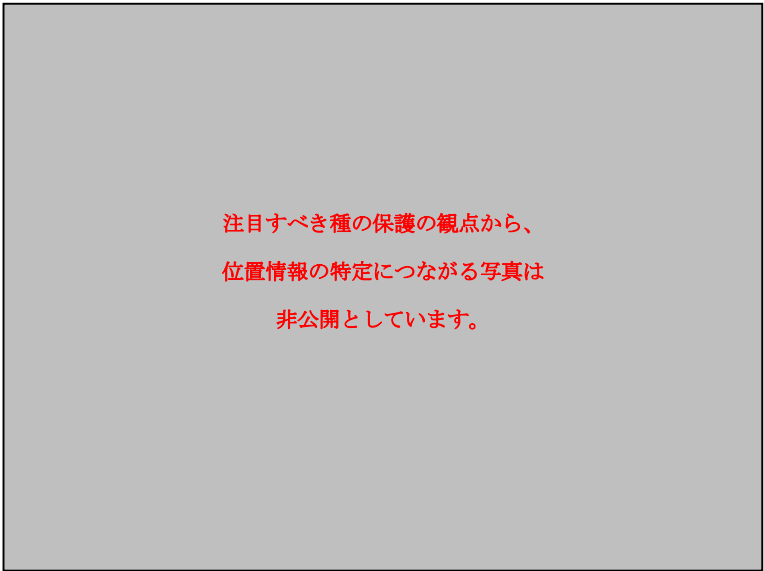


No. 魚・底-37

写真標題
調査地点景観・夏季

説明
St. 2(2)

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日

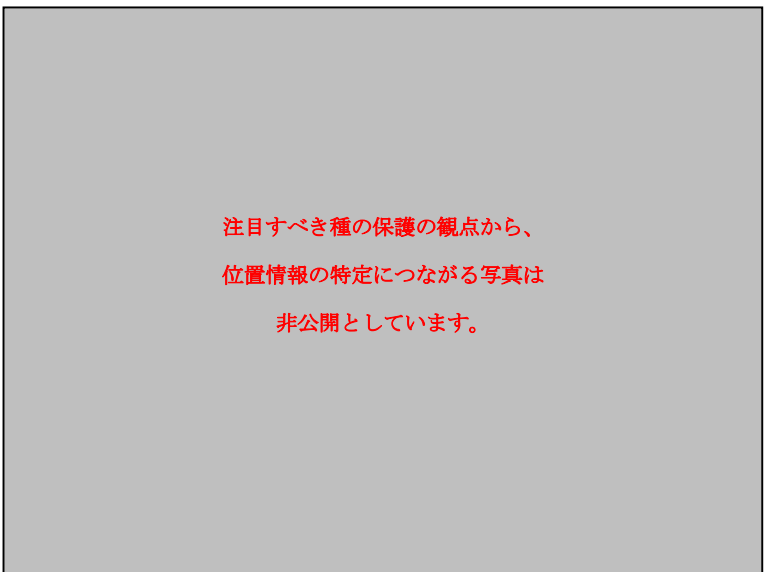


No. 魚・底-38

写真標題
調査地点景観・夏季

説明
St. 3(1)

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-39

写真標題
調査地点景観・夏季

説明
St. 3(2)

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-40

写真標題
魚類確認種・夏季

説明
コイ

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-41

写真標題
魚類確認種・夏季

説明
ゲンゴロウブナ

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-42

写真標題
魚類確認種・夏季

説明
ギンブナ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-43

写真標題
魚類確認種・夏季

説明
マルタ

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-44

写真標題
魚類確認種・夏季

説明
ウグイ

撮影日
平成 28 年 8 月 12 日



No. 魚・底-45

写真標題
魚類確認種・夏季

説明
タモロコ

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-46

写真標題
魚類確認種・夏季
(注目すべき種)

説明
ドジョウ

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-47

写真標題
魚類確認種・夏季

説明
カラドジョウ

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-48

写真標題
魚類確認種・夏季

説明
アユ

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-49

写真標題
魚類確認種・夏季

説明
ブルーギル

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-50

写真標題
魚類確認種・夏季

説明
オオクチバス

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-51

写真標題
魚類確認種・夏季

説明
ボラ

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-52

写真標題
魚類確認種・夏季

説明
ヌマチチブ

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-53

写真標題
魚類確認種・夏季

説明
ヌマガレイ

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-54

写真標題
底生動物確認種・夏季
(注目すべき種)

説明
マルタニシ

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日



No. 魚・底-55

写真標題
底生動物確認種・夏季
(注目すべき種)

説明
オオタニシ

撮影日
平成 28 年 8 月 9 日

注目すべき種の保護の観点から、
位置情報の特定につながる写真は
非公開としています。

No. 魚・底-56

写真標題
調査実施状況・秋季

説明
魚類調査
投網による捕獲

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日

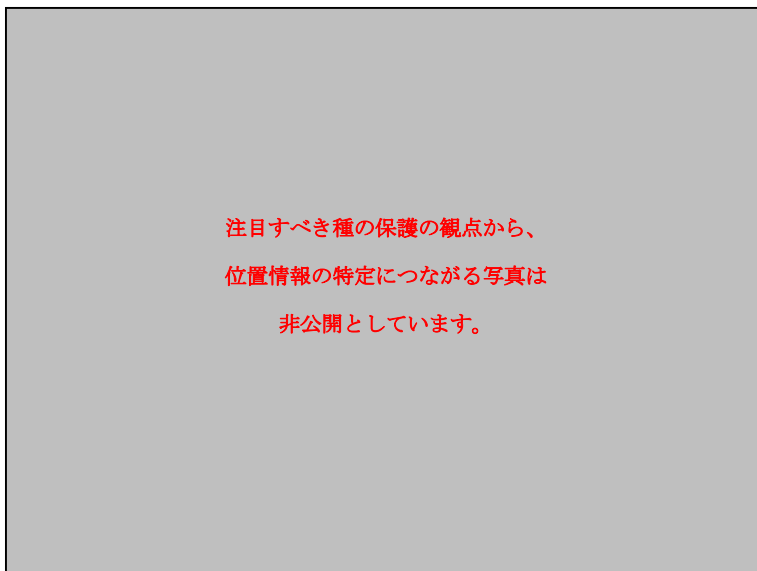
注目すべき種の保護の観点から、
位置情報の特定につながる写真は
非公開としています。

No. 魚・底-57

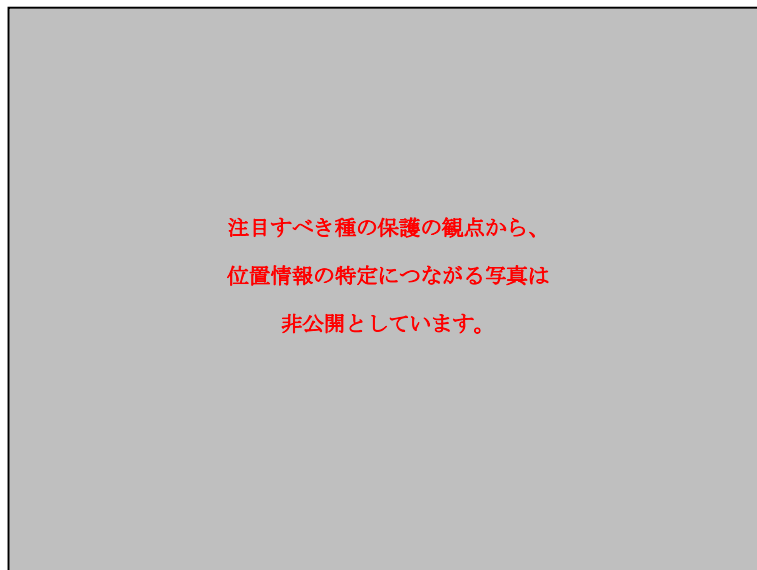
写真標題
調査実施状況・秋季

説明
魚類調査
タモ網による捕獲

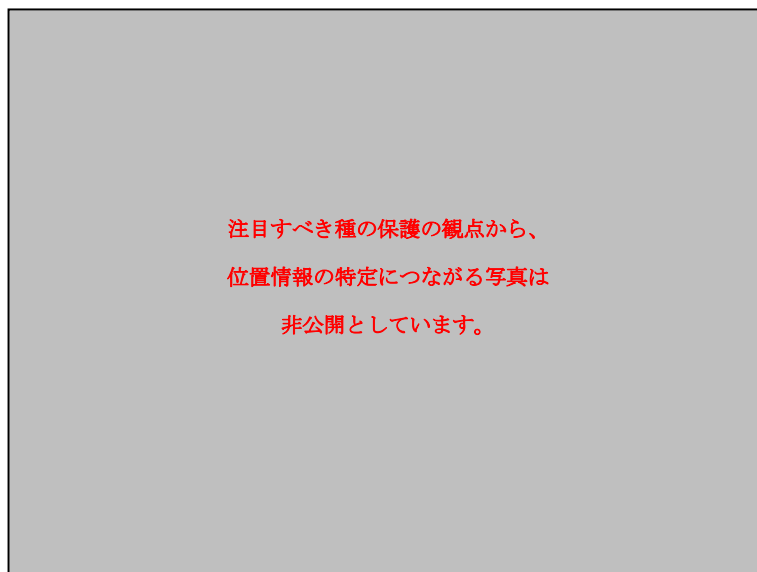
撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-58
写真標題 調査実施状況・秋季
説明 魚類調査 サデ網による捕獲
撮影日 平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-59
写真標題 調査実施状況・秋季
説明 魚類調査 セルびんの回収
撮影日 平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-60
写真標題 調査実施状況・秋季
説明 底生動物調査 タモ網による定性採集
撮影日 平成 28 年 9 月 26 日

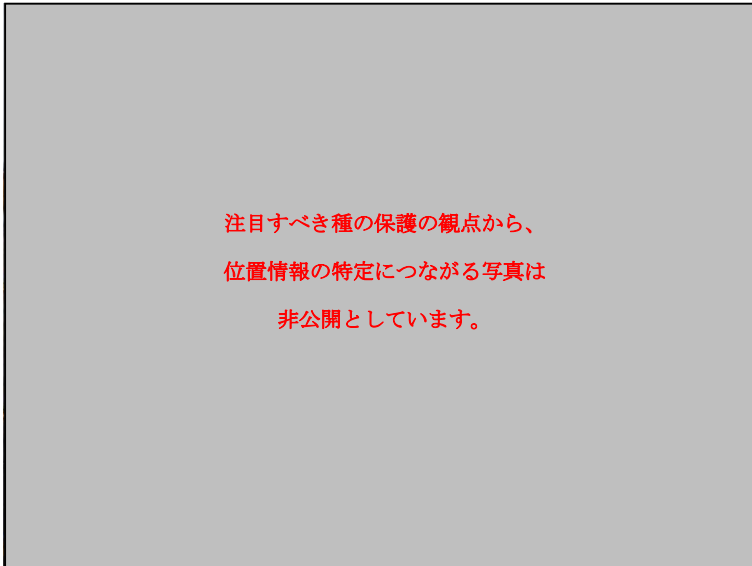


No. 魚・底-61

写真標題
調査実施状況・秋季

説明
特別採捕許可旗の掲示

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日

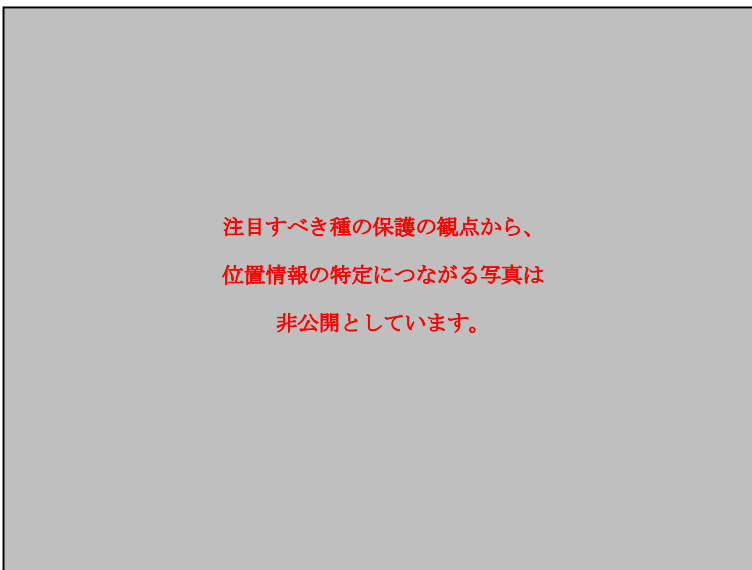


No. 魚・底-62

写真標題
調査地点景観・秋季

説明
St. 1(1)

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日

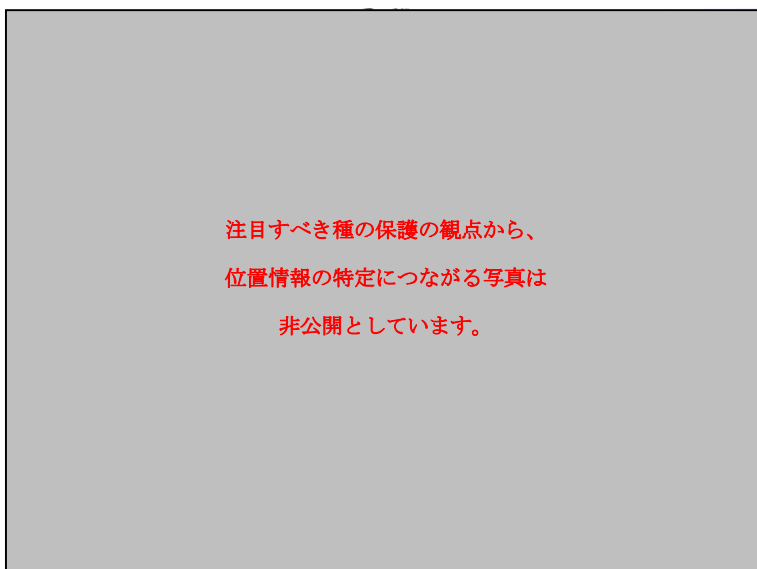


No. 魚・底-63

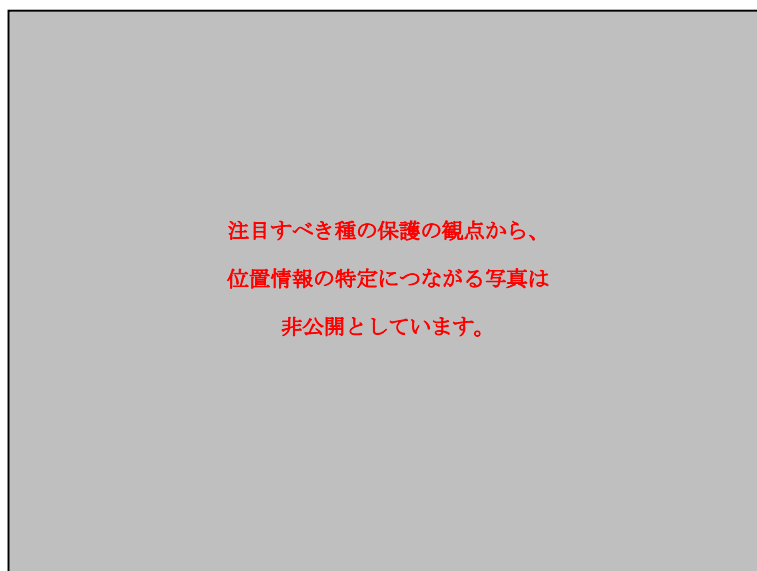
写真標題
調査地点景観・秋季

説明
St. 1(2)

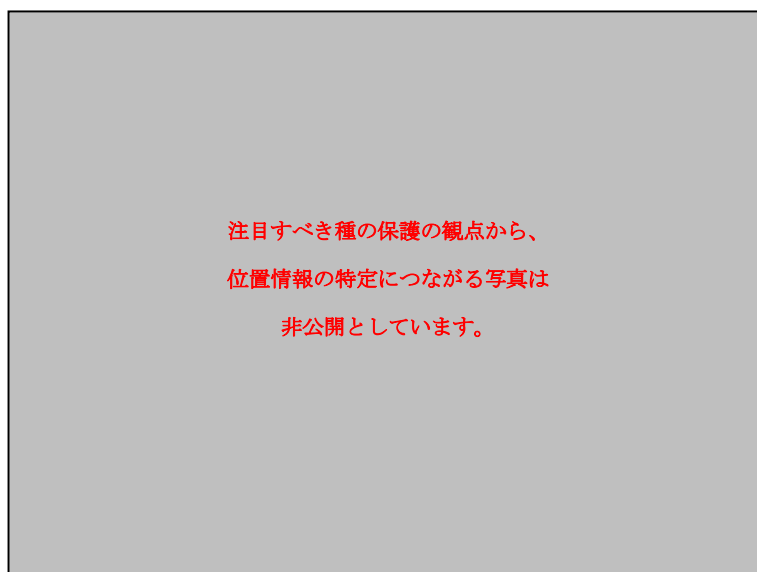
撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



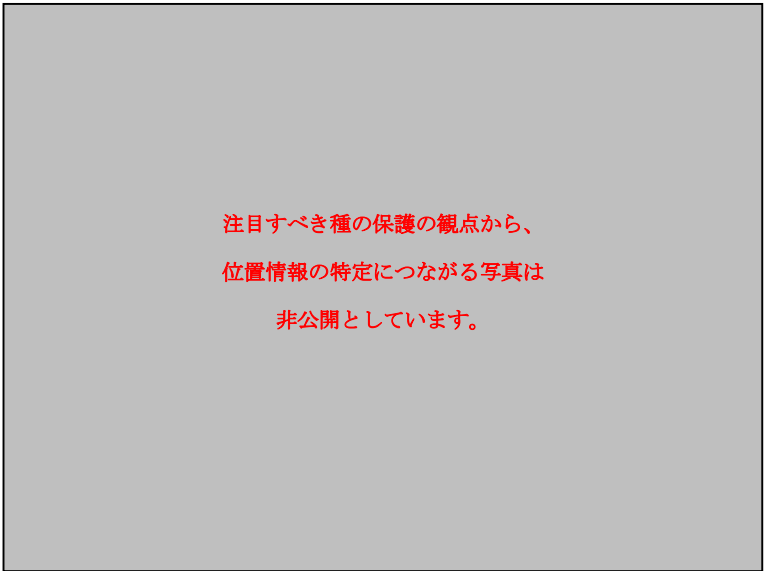
No. 魚・底-64
写真標題 調査地点景観・秋季
説明 St. 2(1)
撮影日 平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-65
写真標題 調査地点景観・秋季
説明 St. 2(2)
撮影日 平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-66
写真標題 調査地点景観・秋季
説明 St. 3(1)
撮影日 平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-67

写真標題
調査地点景観・秋季

説明
St. 3(2)

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-68

写真標題
魚類確認種・秋季
(注目すべき種)

説明
ニホンウナギ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-69

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
コイ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-70

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
ゲンゴロウブナ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-71

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
オイカワ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-72

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
アブラハヤ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-73

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
マルタ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-74

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
ウグイ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-75

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
モツゴ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-76

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
タモロコ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-77

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
ニゴイ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-78

写真標題
魚類確認種・秋季
(注目すべき種)

説明
ドジョウ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-79

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
ナマズ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-80

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
ブルーギル

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-81

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
オオクチバス

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-82

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
ボラ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-83

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
ウキゴリ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日

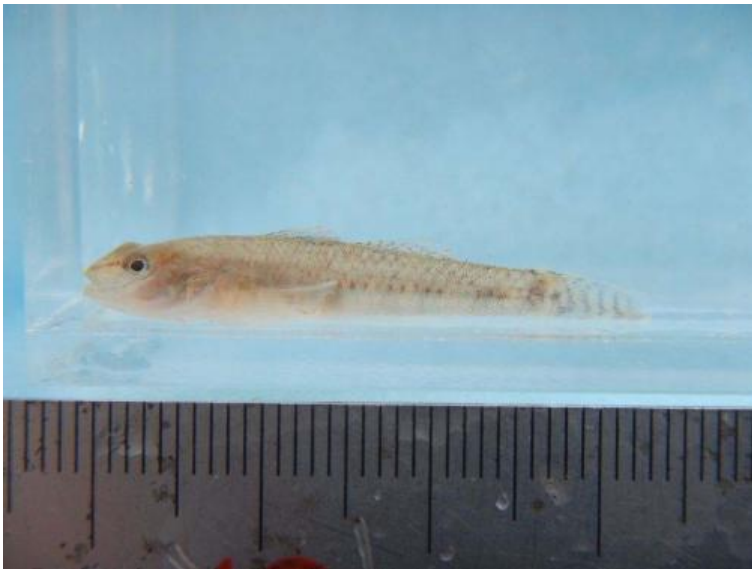


No. 魚・底-84

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
マハゼ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-85

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
ヨシノボリ属

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日



No. 魚・底-86

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
ヌマチチブ

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日

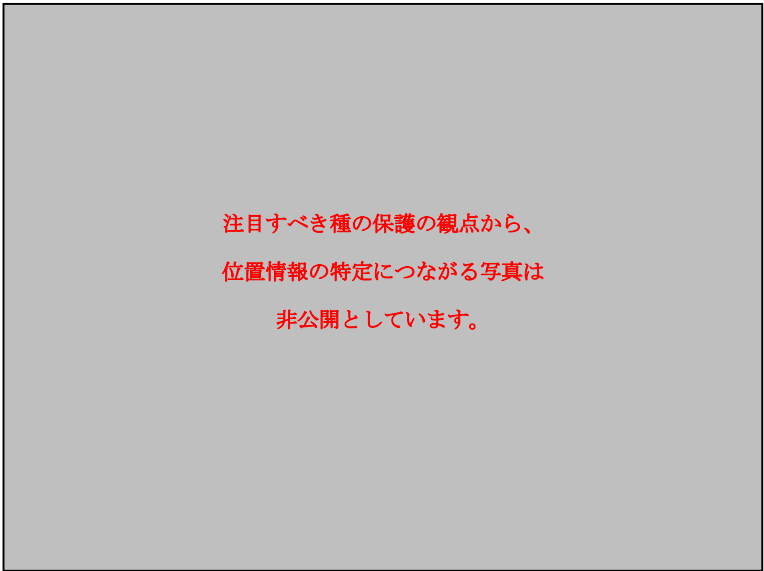


No. 魚・底-87

写真標題
魚類確認種・秋季

説明
カムルチー

撮影日
平成 28 年 9 月 26 日

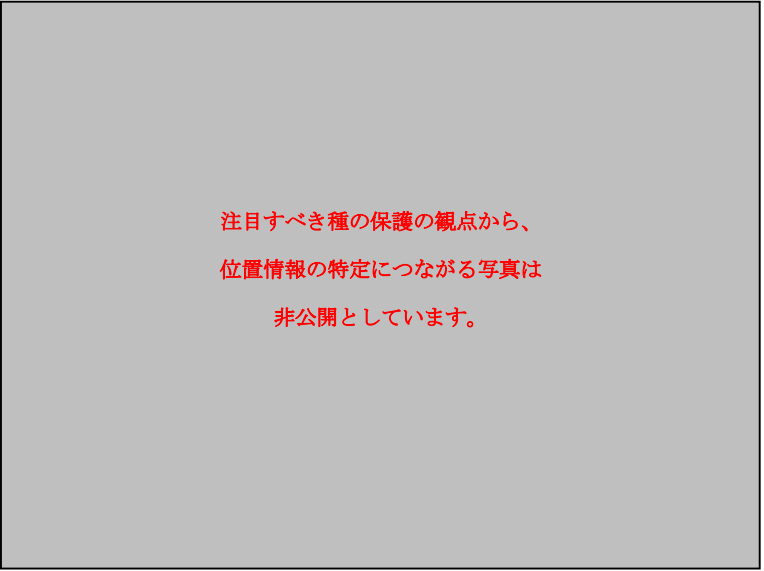


No. 魚・底-88

写真標題
調査実施状況・冬季

説明
魚類調査
投網による捕獲

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日

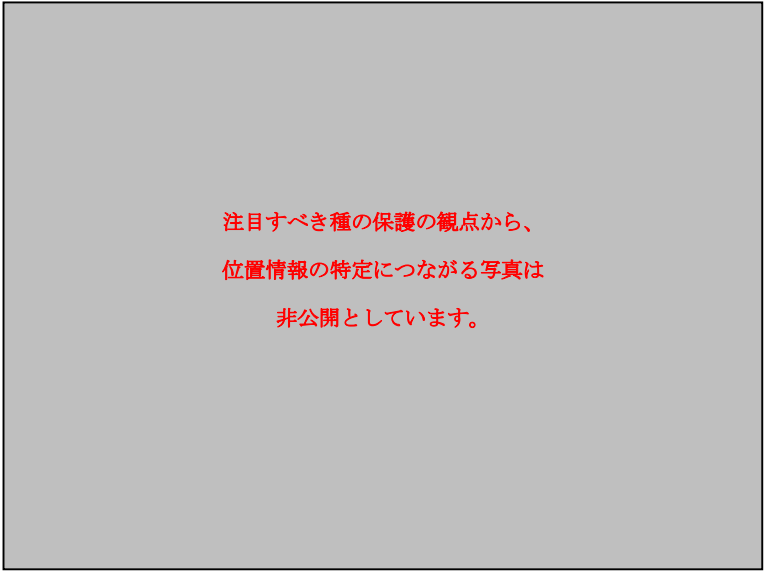


No. 魚・底-89

写真標題
調査実施状況・冬季

説明
魚類調査
タモ網による捕獲

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日

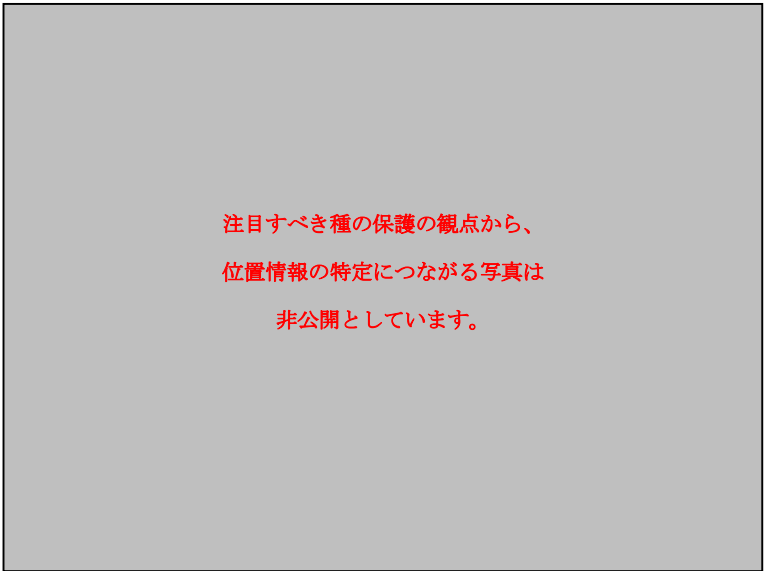


No. 魚・底-90

写真標題
調査実施状況・冬季

説明
魚類調査
サデ網による捕獲

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日

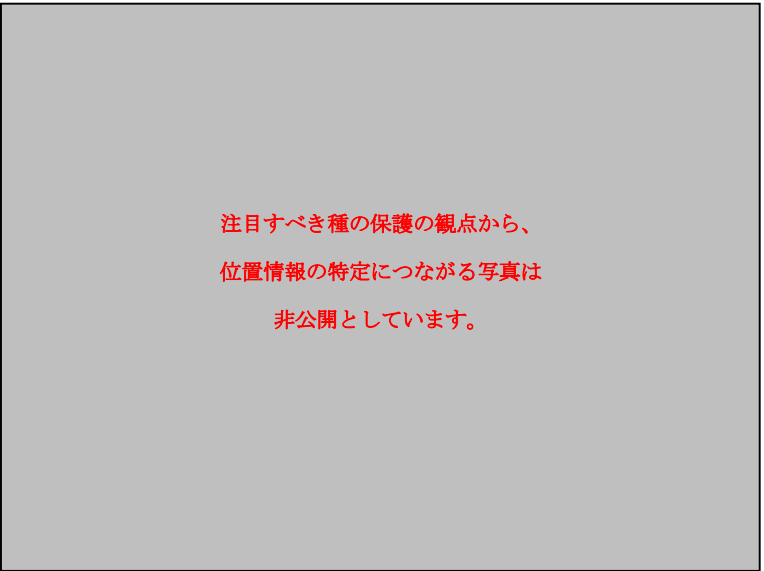


No. 魚・底-91

写真標題
調査実施状況・冬季

説明
魚類調査
セルびんの回収

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日



No. 魚・底-92

写真標題
調査実施状況・冬季

説明
底生動物調査
タモ網による定性採集

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日

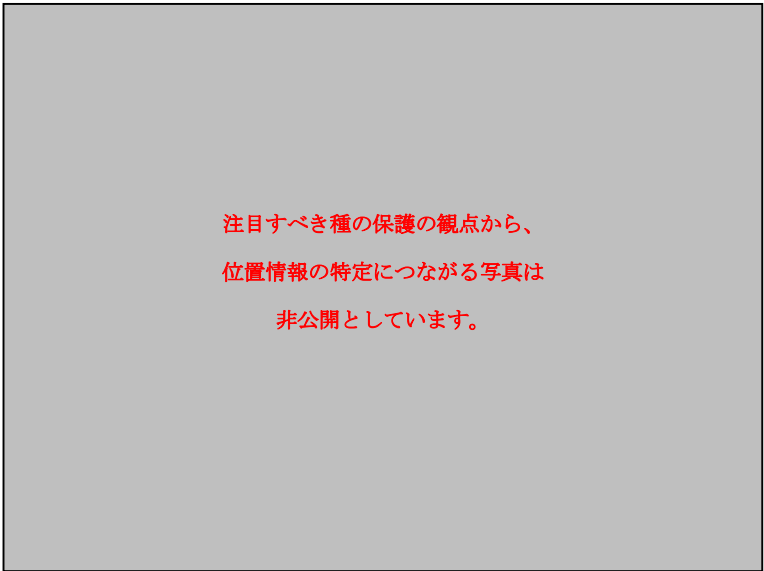


No. 魚・底-93

写真標題
調査実施状況・冬季

説明
特別採捕許可旗の掲示

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日

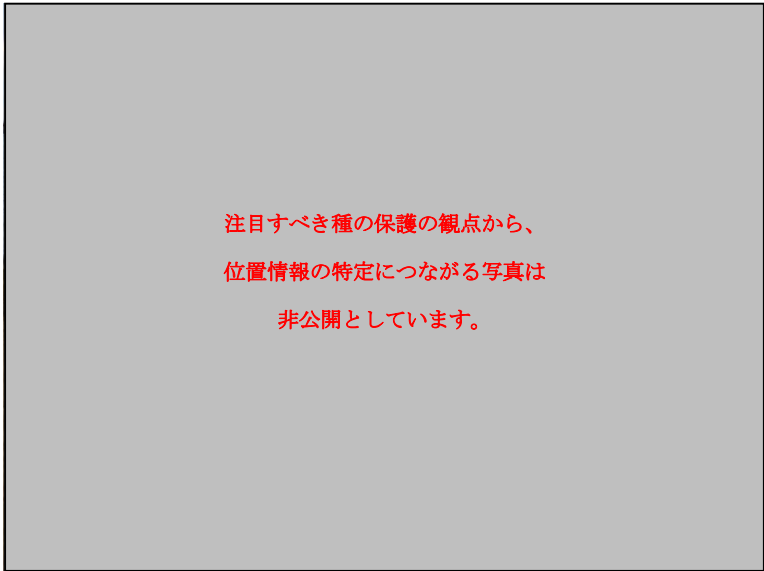


No. 魚・底-94

写真標題
調査地点景観・冬季

説明
St. 1(1)

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日

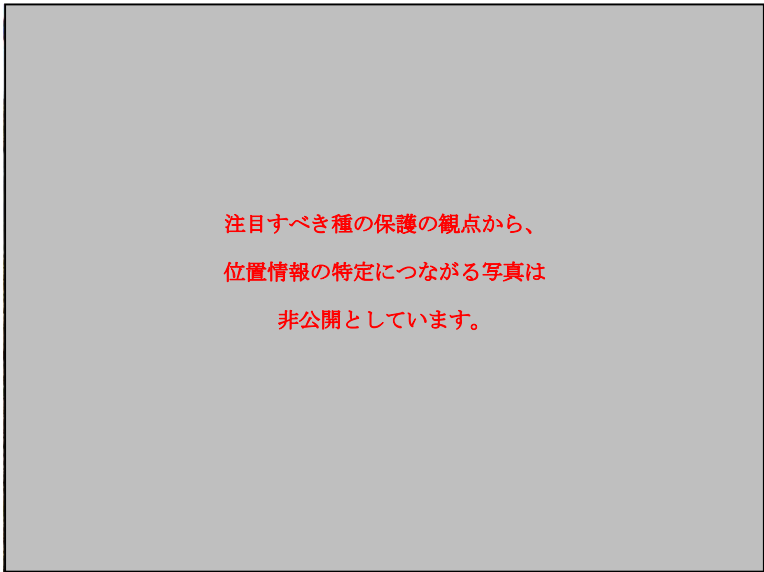


No. 魚・底-95

写真標題
調査地点景観・冬季

説明
St. 1(2)

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日

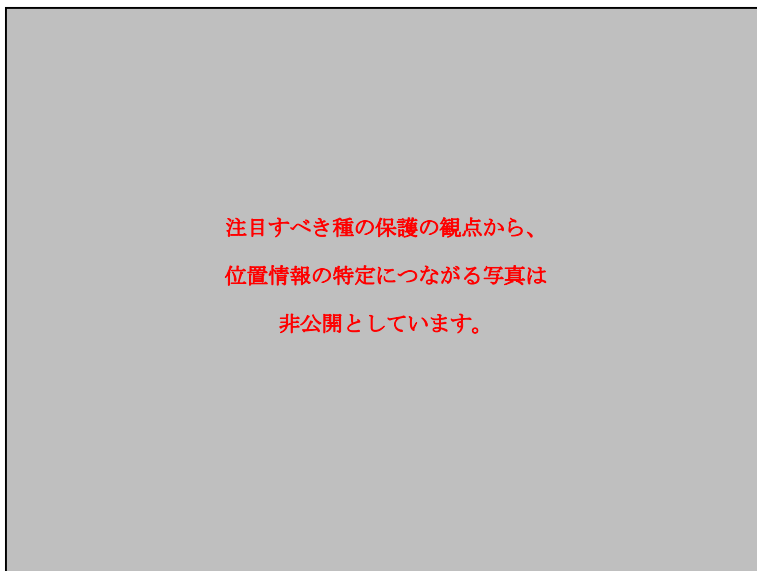


No. 魚・底-96

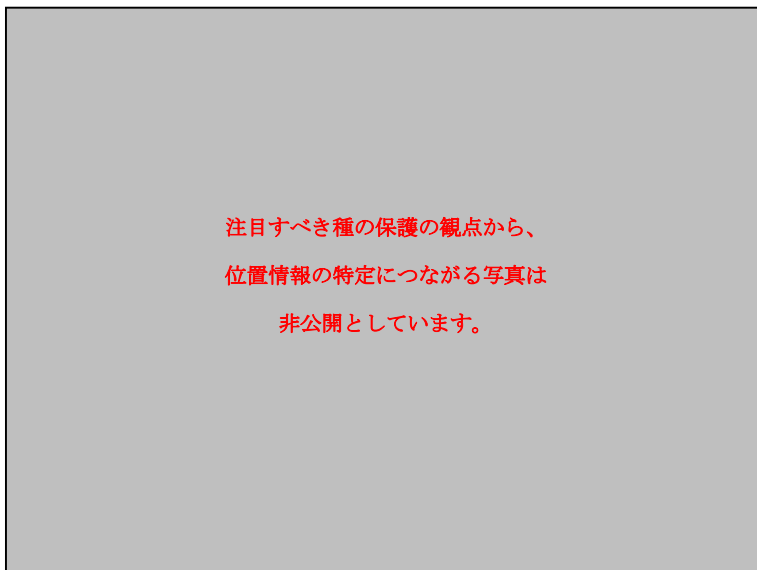
写真標題
調査地点景観・冬季

説明
St. 2(1)

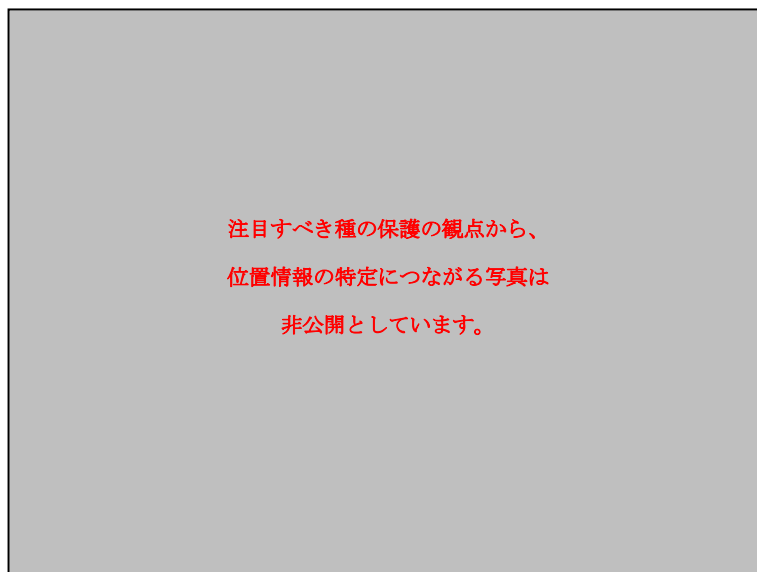
撮影日
平成 29 年 1 月 27 日



No. 魚・底-97
写真標題 調査地点景観・冬季
説明 St. 2(2)
撮影日 平成 29 年 1 月 27 日



No. 魚・底-98
写真標題 調査地点景観・冬季
説明 St. 3(1)
撮影日 平成 29 年 1 月 27 日



No. 魚・底-99
写真標題 調査地点景観・冬季
説明 St. 3(2)
撮影日 平成 29 年 1 月 27 日



No. 魚・底-100

写真標題
魚類確認種・冬季

説明
マルタ

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日



No. 魚・底-101

写真標題
魚類確認種・冬季

説明
ウグイ

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日



No. 魚・底-102

写真標題
魚類確認種・冬季

説明
モツゴ

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日



No. 魚・底-103

写真標題
魚類確認種・冬季

説明
タモロコ

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日



No. 魚・底-104

写真標題
魚類確認種・冬季

説明
ニゴイ

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日



No. 魚・底-105

写真標題
魚類確認種・冬季
(注目すべき種)

説明
ドジョウ

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日

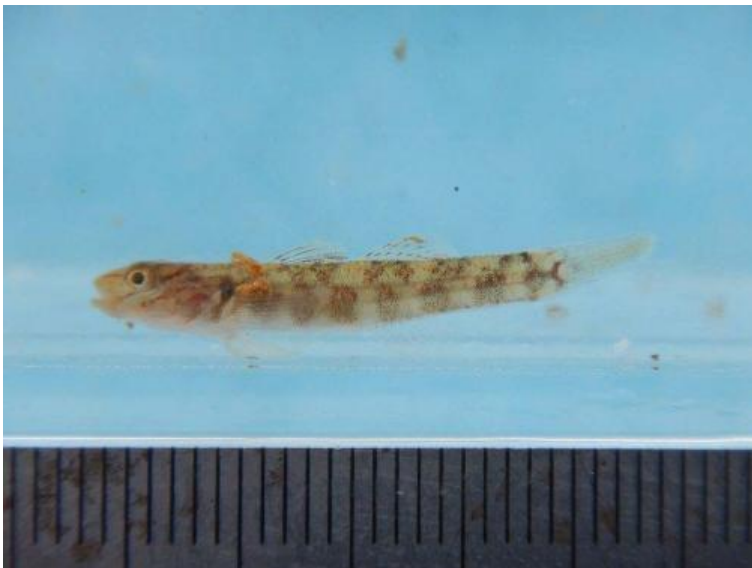


No. 魚・底-106

写真標題
魚類確認種・冬季

説明
アシシロハゼ

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日



No. 魚・底-107

写真標題
魚類確認種・冬季

説明
ヨシノボリ属

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日



No. 魚・底-108

写真標題
魚類確認種・冬季

説明
ヌマチチブ

撮影日
平成 29 年 1 月 27 日



No. 生態系(鳥)-1

写真標題
調査実施状況・夏季

説明
定点センサス

撮影日
平成 28 年 8 月 8 日



No. 生態系(鳥)-2

写真標題
調査実施状況・冬季

説明
ラインセンサス

撮影日
平成 29 年 1 月 20 日



No. 生態系(鳥)-3

写真標題
生態系(鳥類)確認種
(注目すべき種)

説明
アオサギ

撮影日
平成 29 年 1 月 20 日



No. 生態系(鳥)-4

写真標題
生態系(鳥類)確認種
(注目すべき種)

説明
ダイサギ

撮影日
平成 28 年 8 月 8 日



No. 生態系(鳥)-5

写真標題
生態系(鳥類)確認種
(注目すべき種)

説明
チュウサギ

撮影日
平成 28 年 8 月 8 日



No. 生態系(鳥)-6

写真標題
生態系(鳥類)確認種
(注目すべき種)

説明
コサギ

撮影日
平成 29 年 1 月 20 日



No. 生態系(鳥)-7

写真標題
生態系(鳥類)確認種
(注目すべき種)

説明
ノスリ

撮影日
平成 29 年 1 月 20 日



No. 生態系(鳥)-8

写真標題
生態系(鳥類)確認種
(注目すべき種)

説明
コチョウゲンボウ

撮影日
平成 29 年 1 月 20 日



No. 生態系(鳥)-9

写真標題
生態系(鳥類)確認種
(注目すべき種)

説明
ハヤブサ

撮影日
平成 29 年 1 月 20 日



No. 生態系(両)-1

写真標題
調査実施状況

説明
直接観察法

撮影日
平成 28 年 6 月 20 日



No. 生態系(両)-2

写真標題
生態系(両生類)確認種
(注目すべき種)

説明
ニホンアカガエル
(幼生)

撮影日
平成 28 年 6 月 20 日



No. 生態系(両)-3

写真標題
生態系(両生類)確認種
(注目すべき種)

説明
ニホンアカガエル
(幼体)

撮影日
平成 28 年 6 月 20 日

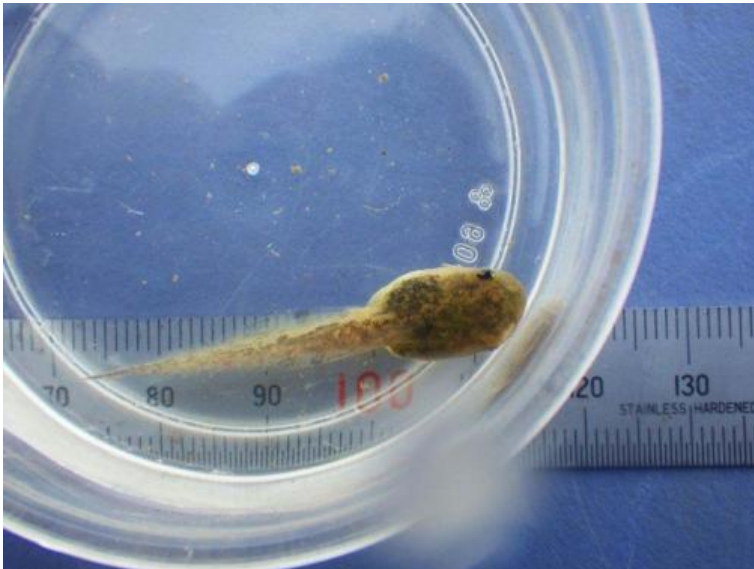


No. 生態系(両)-4

写真標題
生態系(両生類)確認種
(注目すべき種)

説明
ニホンアカガエル
(成体(死体))

撮影日
平成 28 年 6 月 20 日



No. 生態系(両)-5

写真標題
生態系(両生類)確認種

説明
ニホンアマガエル
(幼生)

撮影日
平成 28 年 6 月 20 日



No. 生態系(両)-6

写真標題
生態系(両生類)確認種

説明
ニホンアマガエル
(幼体)

撮影日
平成 28 年 6 月 20 日